

### 島根原子力発電所における放射線測定設備の改造に伴う検査について

島根原子力発電所における放射線測定設備の改造に伴い、原子力災害対策特別措置法第11条第5項に基づく検査（以下、「原災法検査」という。）の項目と、原災法検査に先立って事業者にて実施する使用前事業者検査の項目の比較確認を行った。

その結果、使用前事業者検査における「線源校正検査」、「記録計指示対応検査」および「設定値確認検査」について、「原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領」に定められた手順および判定基準と同等の手順および判定基準で実施していることから、使用前事業者検査の記録確認を行うことで、原災法検査のうち「線源較正確認検査」、「記録確認検査」および「警報レベルの誤差確認検査」を省略できると考える。

#### 1. 検査項目比較結果

##### (1) 線源較正確認検査

- a. 使用前事業者検査における検査項目：線源校正検査
- b. 判定基準

検査名	使用前事業者検査	原災法検査
	線源校正検査	線源較正確認検査
判定基準	正味線量率を空気吸収（基準）線量率又は空気カーマ率で除した値が、許容範囲内（0.85～1.22）であること。	正味線量率を空気吸収（基準）線量率又は空気カーマ率で除した値が、0.85～1.22の範囲内であること。

##### c. 比較結果

使用前事業者検査に適合することにより、原災法検査における許容範囲内であることが確認可能である。

##### (2) 警報レベルの誤差確認検査

- a. 使用前事業者検査における検査項目：設定値確認検査
- b. 判定基準

検査名	使用前事業者検査	原災法検査
	設定値確認検査	警報レベルの誤差確認検査
判定基準	・低レンジモニタ 警報設定値の95%の入力に対して5分の間、作動しないこと。 警報設定値の105%の入力に対して5分以内に作動すること。	警報音の吹鳴、表示灯の点灯等が正常に動作し、以下を満たすこと。 (i) 中央制御室等の警報装置が設定値の80%の値で作動しないこと。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高レンジモニタ 警報設定値の80%の値で1分の間、作動しないこと。 警報設定値の120%の値で1分以内に作動すること。</li> </ul>	(ii) 中央制御室等の警報装置が設置値の120%の値で作動すること。
--	--	-------------------------------------

c. 比較結果

原災法検査の判定基準は、JIS Z 4325-2019 に準拠した判定基準となっており、同JISを適用している高レンジモニタについては、同様の判定基準となっている。

一方で、低レンジ検出器は JIS Z 4325-2008 に準拠した判定基準となっているが、検出器の製造時に適用した JIS に準拠した判定基準としているものであり、使用前事業者検査に適合することにより、原災法検査における許容範囲内であることが確認可能である。

(3) 記録確認検査

a. 使用前事業者検査における検査項目：記録計指示対応検査

b. 判定基準

検査名	使用前事業者検査	原災法検査
	記録計指示対応検査	記録確認検査
判定基準	記録計に記録された指示値が許容範囲内(±0.06Nデカード以内)であること。	記録された数値が照射等による数値に対し以下を満たすこと。 イ. アナログ式対数計 ±0.06Nデカード以内であること。

c. 比較結果



使用前事業者検査に適合することにより、原災法検査における許容範囲内であることが確認可能である。

2. 添付資料

(1) 中国電力株式会社 島根原子力発電所2号機 使用前事業者検査(施設)成績書  
要領書番号(S2-17-施042-2)

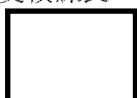
(2) 原子力災害特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領に係る検査項目比較表

以上

承認	作成
検査実施 責任者	検査員
	
2023.9.11	

通知

検査受検課長



2023.9.11

中国電力株式会社  
島根原子力発電所第2号機  
使用前事業者検査（施設）成績書

施設名：放射線管理施設  
設備名：固定式周辺モニタリング設備  
検査名：特性検査、機能性能検査

要領書番号：S2-17-施042-2

1. 検査結果

検査項目	検査年月日	検査結果	検査実施責任者	摘要
特性検査	2023年9月8日	合格		MP-1 立会・記録確認
	2023年9月7日	合格		MP-3 立会・記録確認
	2023年9月11日	合格		MP-5 立会・記録確認
機能性能検査	2023年9月8日	合格		MP-1 立会・記録確認
	2023年9月7日	合格		MP-3 立会・記録確認
	2023年9月11日	合格		MP-5 立会・記録確認

添付-1 特性検査記録

添付-2 機能性能検査記録

2. 特記事項

なし

3. その他添付資料

添付-3 検査体制

添付-4 検査手順

添付-5 検査工程

添付-6 検査用計器一覧表 (兼 校正確認シート)

## 特性検査記録

検査年月日：2023年9月7日

検査員：

### 1. 線源校正検査

名称	判定基準	結果	確認方法	備考
モニタリングポスト MP-1 電離箱	正味線量率を空気吸収（基準）線量率又は 空気カーマ率で除した値が、許容範囲(0.85 ～1.22) であること	良	立会・記録確認	別紙-6-1 参照
モニタリングポスト MP-3 電離箱			立会・記録確認	
モニタリングポスト MP-5 電離箱			立会・記録確認	

成績書(頁)

データ採取等の記録 (線源校正検査)

検査年月日 2023年 9月 7日  
 検査受検担当者

2. モニタリングポスト MP-3

(1) 電離箱

線源と検出器の距離 (m) (空気吸収 (基準) 線量率)	指示線量率 (操作表示器) (nGy/h)	バックグラウンド (操作表示器) (nGy/h)	正味線量率 (nGy/h)	正味線量率を空気吸 収 (基準) 線量率等 で除した値	結 果	備 考
0.5 ( $2.64 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$2.76 \times 10^3$	$7.10 \times 10$	$2.69 \times 10^3$	1.02	✓	許容範囲 0.85~1.22
1.0 ( $6.60 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$7.48 \times 10^2$	$7.10 \times 10$	$6.77 \times 10^2$	1.03	✓	
1.5 ( $2.98 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$3.73 \times 10^2$	$7.10 \times 10$	$3.02 \times 10^2$	1.03	✓	

## 特性検査記録

検査年月日： 2023年9月7日

検査員：

2. 記録計指示対応検査

名 称	判 定 基 準	結 果	確 認 方 法	備 考
モニタリングポスト MP-1	低レンジモニタ	良	立会・記録確認	別紙-6-2 参照
	高レンジモニタ		立会・記録確認	
モニタリングポスト MP-3	低レンジモニタ	良	立会・記録確認	
	高レンジモニタ		立会・記録確認	
モニタリングポスト MP-5	低レンジモニタ	良	立会・記録確認	
	高レンジモニタ		立会・記録確認	

成績書(頁)

## データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)

検査年月日 2023年 9月 7日  
 検査受検担当者

## 2. モニタリングポスト MP-3

## (1) 低レンジモニタ (N=4)

模擬信号による標準入力		デジタル線量値 (nGy/h)	記録計指示値 (nGy/h)	許容範囲 (nGy/h)	結果	備考
工学値 (nGy/h)	模擬入力 (s <sup>-1</sup> )					
3.0×10 <sup>1</sup>	6.44E+00	3.00 × 10 <sup>1</sup>	3.0 × 10 <sup>1</sup>	1.8 × 10 <sup>1</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>1</sup>	✓	
3.0×10 <sup>2</sup>	6.44E+01	3.00 × 10 <sup>2</sup>	3.0 × 10 <sup>2</sup>	1.8 × 10 <sup>2</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>2</sup>	✓	
3.0×10 <sup>3</sup>	6.44E+02	3.00 × 10 <sup>3</sup>	3.0 × 10 <sup>3</sup>	1.8 × 10 <sup>3</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>3</sup>	✓	
3.0×10 <sup>4</sup>	6.44E+03	3.00 × 10 <sup>4</sup>	3.0 × 10 <sup>4</sup>	1.8 × 10 <sup>4</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>4</sup>	✓	

## (2) 高レンジモニタ (N=7)

模擬信号による標準入力		デジタル線量値 (nGy/h)	指示線量率 (記録計指示) (nGy/h)	許容範囲 (nGy/h)	結果	備考
工学値 (nGy/h)	模擬入力 (s <sup>-1</sup> )					
3.0×10 <sup>1</sup>	3.00E-01	3.00 × 10 <sup>1</sup>	3.0 × 10 <sup>1</sup>	1.2 × 10 <sup>1</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>1</sup>	✓	
3.0×10 <sup>2</sup>	3.00E+00	3.00 × 10 <sup>2</sup>	3.0 × 10 <sup>2</sup>	1.2 × 10 <sup>2</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>2</sup>	✓	
3.0×10 <sup>3</sup>	3.00E+01	3.00 × 10 <sup>3</sup>	3.0 × 10 <sup>3</sup>	1.2 × 10 <sup>3</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>3</sup>	✓	
3.0×10 <sup>4</sup>	3.00E+02	3.00 × 10 <sup>4</sup>	3.0 × 10 <sup>4</sup>	1.2 × 10 <sup>4</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>4</sup>	✓	
3.0×10 <sup>5</sup>	3.00E+03	3.00 × 10 <sup>5</sup>	3.0 × 10 <sup>5</sup>	1.2 × 10 <sup>5</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>5</sup>	✓	
3.0×10 <sup>6</sup>	3.00E+04	3.00 × 10 <sup>6</sup>	3.0 × 10 <sup>6</sup>	1.2 × 10 <sup>6</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>6</sup>	✓	
3.0×10 <sup>7</sup>	3.00E+05	3.00 × 10 <sup>7</sup>	3.0 × 10 <sup>7</sup>	1.2 × 10 <sup>7</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>7</sup>	✓	



## 特性検査記録

検査年月日： 2023年 9月 8日

検査員：

1. 線源校正検査

名 称	判 定 基 準	結 果	確 認 方 法	備 考
モニタリングポスト MP-1 電離箱	正味線量率を空気吸収（基準）線量率又は 空気カーマ率で除した値が、許容範囲(0.85 ～1.22) であること	良	<del>立会・記録確認</del>	別紙-6-1 参照
モニタリングポスト MP-3 電離箱		<del>立会・記録確認</del>		
モニタリングポスト MP-5 電離箱		<del>立会・記録確認</del>		

成績書(頁)

データ採取等の記録 (線源校正検査)

検査年月日 2023年9月8日

検査受検担当者

1. モニタリングポスト MP-1

(1) 電離箱

線源と検出器の距離 (m) 空気吸収 (基準) 線量率	指示線量率 (操作表示器) (nGy/h)	バックグラウンド (操作表示器) (nGy/h)	正味線量率 (nGy/h)	正味線量率を空気吸 収 (基準) 線量率等 で除した値	結 果	備 考
0.5 ( $2.64 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$2.82 \times 10^3$	$5.84 \times 10$	$2.77 \times 10^3$	1.05	✓	
1.0 ( $6.60 \times 10^2 \text{ nGy/h}$ )	$7.36 \times 10^2$	$5.84 \times 10$	$6.78 \times 10^2$	1.03	✓	許容範囲 0.85~1.22
1.5 ( $2.93 \times 10^2 \text{ nGy/h}$ )	$3.62 \times 10^2$	$5.84 \times 10$	$3.04 \times 10^2$	1.04	✓	

成績書 (頁)

## 特性検査記録

検査年月日：2023年 9月 8日

検査員：

2. 記録計指示対応検査

名 称	判 定 基 準	結 果	確 認 方 法	備 考
モニターリングポスト MP-1	低レンジモニタ	良	(立会) 記録確認	別紙-6-2 参照
	高レンジモニタ	良	(立会) 記録確認	
モニターリングポスト MP-3	低レンジモニタ	<del>                    </del>	<del>立会・記録確認</del>	
	高レンジモニタ	<del>                    </del>	<del>立会・記録確認</del>	
モニターリングポスト MP-5	低レンジモニタ	<del>                    </del>	<del>立会・記録確認</del>	
	高レンジモニタ	<del>                    </del>	<del>立会・記録確認</del>	

成績書(頁)

## データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)

検査年月日 2023年9月8日

検査受検担当者

## 1. モニタリングポスト MP-1

## (1) 低レンジモニタ (N=4)

模擬信号号による標準入力		デジタル線量値 (nGy/h)	記録計指示値 (nGy/h)	許容範囲 (nGy/h)	結果	備考
工学値 (nGy/h)	模擬入力 (s <sup>-1</sup> )					
3.0×10 <sup>1</sup>	6.44E+00	3.00 × 10 <sup>1</sup>	3.0 × 10 <sup>1</sup>	1.8 × 10 <sup>1</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>1</sup>	✓	
3.0×10 <sup>2</sup>	6.44E+01	3.00 × 10 <sup>2</sup>	3.0 × 10 <sup>2</sup>	1.8 × 10 <sup>2</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>2</sup>	✓	
3.0×10 <sup>3</sup>	6.44E+02	3.00 × 10 <sup>3</sup>	3.0 × 10 <sup>3</sup>	1.8 × 10 <sup>3</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>3</sup>	✓	
3.0×10 <sup>4</sup>	6.44E+03	3.00 × 10 <sup>4</sup>	3.0 × 10 <sup>4</sup>	1.8 × 10 <sup>4</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>4</sup>	✓	

## (2) 高レンジモニタ (N=7)

模擬信号号による標準入力		デジタル線量値 (nGy/h)	指示線量率 (記録計指示) (nGy/h)	許容範囲 (nGy/h)	結果	備考
工学値 (nGy/h)	模擬入力 (s <sup>-1</sup> )					
3.0×10 <sup>1</sup>	3.00E-01	3.00 × 10 <sup>1</sup>	3.0 × 10 <sup>1</sup>	1.2 × 10 <sup>1</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>1</sup>	✓	
3.0×10 <sup>2</sup>	3.00E+00	3.00 × 10 <sup>2</sup>	3.0 × 10 <sup>2</sup>	1.2 × 10 <sup>2</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>2</sup>	✓	
3.0×10 <sup>3</sup>	3.00E+01	3.00 × 10 <sup>3</sup>	3.0 × 10 <sup>3</sup>	1.2 × 10 <sup>3</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>3</sup>	✓	
3.0×10 <sup>4</sup>	3.00E+02	3.00 × 10 <sup>4</sup>	3.0 × 10 <sup>4</sup>	1.2 × 10 <sup>4</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>4</sup>	✓	
3.0×10 <sup>5</sup>	3.00E+03	3.00 × 10 <sup>5</sup>	3.0 × 10 <sup>5</sup>	1.2 × 10 <sup>5</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>5</sup>	✓	
3.0×10 <sup>6</sup>	3.00E+04	3.00 × 10 <sup>6</sup>	3.0 × 10 <sup>6</sup>	1.2 × 10 <sup>6</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>6</sup>	✓	
3.0×10 <sup>7</sup>	3.00E+05	3.00 × 10 <sup>7</sup>	3.0 × 10 <sup>7</sup>	1.2 × 10 <sup>7</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>7</sup>	✓	

## 特性検査記録

検査年月日： 2023年 9 月 11 日

検査員：

### 1. 線源校正検査

名称	判定基準	結果	確認方法	備考
モニタリングポスト MP-1 電離箱	正味線量率を空気吸収（基準）線量率又は 空気カーマ率で除した値が、許容範囲(0.85 ～1.22) であること	良	<del>立会・記録確認</del>	別紙－6－1 参照
モニタリングポスト MP-3 電離箱			<del>立会・記録確認</del>	
モニタリングポスト MP-5 電離箱			立会・記録確認	

成績書(頁)

データ採取等の記録 (線源校正検査)

検査年月日 2023 年 9 月 11 日

検査受検担当者

3. モニタリングポスト MP-5

(1) 電離箱

線源と検出器の距離 (m) (空気吸収 (基準) 線量率)	指示線量率 (操作表示器) (nGy/h)	バックグラウンド (操作表示器) (nGy/h)	正味線量率 (nGy/h)	正味線量率を空気吸 収 (基準) 線量率等 で除した値	結 果	備 考
0.5 ( $2.64 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$2.81 \times 10^3$	$6.97 \times 10$	$2.74 \times 10^3$	1.04	✓	
1.0 ( $6.60 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$7.58 \times 10^3$	$6.97 \times 10$	$6.89 \times 10^3$	1.05	✓	許容範囲 0.85~1.22
1.5 ( $2.93 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$3.73 \times 10^3$	$6.97 \times 10$	$3.04 \times 10^3$	1.04	✓	

成績書 (頁)

## 特性検査記録

検査年月日：2023年9月11日

検査員：

2. 記録計指示対応検査

名称	判定基準	結果	確認方法	備考	
モタリングポスト MP-1	記録計に記録された指示値が許容範囲内 (±0.06Nデカード以内) であること。		<del>立会・記録確認</del>	別紙-6-2 参照	
			<del>立会・記録確認</del>		
モタリングポスト MP-3			<del>立会・記録確認</del>		
			立会・記録確認		
モタリングポスト MP-5			立会・記録確認		良
			立会・記録確認		良

データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)

検査年月日 2023 年 9 月 11 日  
 検査受検担当者

3. モニタリングポスト MP-5

(1) 低レンジモニタ (N=4)

模擬信号による標準入力		デジタル線量値 (nGy/h)	記録計指示値 (nGy/h)	許容範囲 (nGy/h)	結果	備考
工学値 (nGy/h)	模擬入力 (s <sup>-1</sup> )					
3.0×10 <sup>1</sup>	6.44E+00	3.00 × 10 <sup>1</sup>	3.0 × 10 <sup>1</sup>	1.8 × 10 <sup>1</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>1</sup>	✓	
3.0×10 <sup>2</sup>	6.44E+01	3.00 × 10 <sup>2</sup>	3.0 × 10 <sup>2</sup>	1.8 × 10 <sup>2</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>2</sup>	✓	
3.0×10 <sup>3</sup>	6.44E+02	3.00 × 10 <sup>3</sup>	3.0 × 10 <sup>3</sup>	1.8 × 10 <sup>3</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>3</sup>	✓	
3.0×10 <sup>4</sup>	6.44E+03	3.00 × 10 <sup>4</sup>	3.0 × 10 <sup>4</sup>	1.8 × 10 <sup>4</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>4</sup>	✓	

(2) 高レンジモニタ (N=7)

模擬信号による標準入力		デジタル線量値 (nGy/h)	指示線量率 (記録計指示) (nGy/h)	許容範囲 (nGy/h)	結果	備考
工学値 (nGy/h)	模擬入力 (s <sup>-1</sup> )					
3.0×10 <sup>1</sup>	3.00E-01	3.00 × 10 <sup>1</sup>	3.0 × 10 <sup>1</sup>	1.2 × 10 <sup>1</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>1</sup>	✓	
3.0×10 <sup>2</sup>	3.00E+00	3.00 × 10 <sup>2</sup>	3.0 × 10 <sup>2</sup>	1.2 × 10 <sup>2</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>2</sup>	✓	
3.0×10 <sup>3</sup>	3.00E+01	3.00 × 10 <sup>3</sup>	3.0 × 10 <sup>3</sup>	1.2 × 10 <sup>3</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>3</sup>	✓	
3.0×10 <sup>4</sup>	3.00E+02	3.00 × 10 <sup>4</sup>	3.0 × 10 <sup>4</sup>	1.2 × 10 <sup>4</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>4</sup>	✓	
3.0×10 <sup>5</sup>	3.00E+03	3.00 × 10 <sup>5</sup>	3.0 × 10 <sup>5</sup>	1.2 × 10 <sup>5</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>5</sup>	✓	
3.0×10 <sup>6</sup>	3.00E+04	3.00 × 10 <sup>6</sup>	3.0 × 10 <sup>6</sup>	1.2 × 10 <sup>6</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>6</sup>	✓	
3.0×10 <sup>7</sup>	3.00E+05	3.00 × 10 <sup>7</sup>	3.0 × 10 <sup>7</sup>	1.2 × 10 <sup>7</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>7</sup>	✓	





データ採取等の記録 (設定値確認検査)

検査年月日 2023年 9月 7日  
 検査受検担当者

2. モニタリングポスト MP-3

(1) 低レンジモニタ

モニタ名称	線量率表示 (nGy/h)	基準に対する 割合 (nGy/h)	判定時間	確認事項			結果	備考	
				警報		表示 点灯			
				野外放射線 モニタ盤	共通盤				警報 吹鳴
モニタリングポスト (MP-3)	$\frac{2.09 \times 10^2}{(2.09 \times 10^2)}$	$\frac{95}{(95\%)}$	5分継続	野外 (低レンジ) 放射線 高	線量率 高	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	無なら良
	$\frac{2.31 \times 10^2}{(2.31 \times 10^2)}$	$\frac{105}{(105\%)}$	5分以内	野外 (低レンジ) 放射線 高	線量率 高	<del>有</del> ・無	<del>有</del> ・無	<del>有</del> ・無	有なら良
	$\frac{2.09 \times 10^3}{(2.09 \times 10^3)}$	$\frac{95}{(95\%)}$	5分継続	野外 (低レンジ) 放射線 高	線量率 高	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	無なら良
	$\frac{2.31 \times 10^3}{(2.31 \times 10^3)}$	$\frac{105}{(105\%)}$	5分以内	野外 (低レンジ) 放射線 高	線量率 高	<del>有</del> ・無	<del>有</del> ・無	<del>有</del> ・無	有なら良

成績書 (頁)

データ採取等の記録 (設定値確認検査)

検査年月日 2023年 9月 7日  
 検査受検担当者

2. モニタリングポスト MP-3  
 (2) 高レンジモニタ

モニタ 名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 (nGy/h) <設定値に対する 割合>	確認事項					結 果	備 考		
			正常に作動 (1分以内)	野外放射線 モニタ盤	警 報		表示 点灯			警報 吹鳴	
					線量率高高	線量率高					野外 (高レンジ) 放射線 高
モニタリングポスト (MP-3)	1.00×10 <sup>3</sup>	8.00×10 <sup>2</sup> <80%>	有・ <input type="radio"/> 無	線量率高	野外 (高レンジ) 放射線 高	有・ <input type="radio"/> 無	有・ <input type="radio"/> 無	有・ <input type="radio"/> 無	✓	無なら良	
		1.20×10 <sup>3</sup> <120%>	<input type="radio"/> 有・無	線量率高	野外 (高レンジ) 放射線 高	<input type="radio"/> 有・無	<input type="radio"/> 有・無	<input type="radio"/> 有・無	✓	有なら良	
	1.00×10 <sup>4</sup>	8.00×10 <sup>3</sup> <80%>	有・ <input type="radio"/> 無	線量率高高	野外 (高レンジ) 放射線 高	有・ <input type="radio"/> 無	有・ <input type="radio"/> 無	有・ <input type="radio"/> 無	有・ <input type="radio"/> 無	✓	無なら良
		1.20×10 <sup>4</sup> <120%>	<input type="radio"/> 有・無	線量率高高	野外 (高レンジ) 放射線 高	<input type="radio"/> 有・無	<input type="radio"/> 有・無	<input type="radio"/> 有・無	<input type="radio"/> 有・無	✓	有なら良

## 機能性能検査記録

検査年月日： 2023年 9月 8日

検査員： 

## 1. 設定値確認検査

名称	判定基準	結果	確認方法	備考
モニタリングポスト MP-1	警報設定値の95%の入力に対して5分の間、作動しないこと。 警報設定値の105%の入力に対して5分以内に作動すること。	良	立会・記録確認	別紙-6-3 参照
	警報設定値の80%の値で1分間の間、作動しないこと。 警報設定値の120%の値で1分以内に作動すること。	良	立会・記録確認	
モニタリングポスト MP-3	警報設定値の95%の入力に対して5分の間、作動しないこと。 警報設定値の105%の入力に対して5分以内に作動すること。	<del> </del>	<del>立会・記録確認</del>	
	警報設定値の80%の値で1分間の間、作動しないこと。 警報設定値の120%の値で1分以内に作動すること。	<del> </del>	<del>立会・記録確認</del>	
モニタリングポスト MP-5	警報設定値の95%の入力に対して5分の間、作動しないこと。 警報設定値の105%の入力に対して5分以内に作動すること。	<del> </del>	<del>立会・記録確認</del>	
	警報設定値の80%の値で1分間の間、作動しないこと。 警報設定値の120%の値で1分以内に作動すること。	<del> </del>	<del>立会・記録確認</del>	

データ採取等の記録 (設定値確認検査)

検査年月日 2023年 9月 8日  
 検査受検担当者

1. モニタリングポスト MP-1

(1) 低レンジモニタ

モニタ名称	線量率表示 (nGy/h)	基準に対する 割合 (nGy/h)	確認事項				結果	備考	
			判定時間	警報		表示 点灯			警報 吹鳴
				野外放射線 モニタ盤	共通盤				
モニタリングポスト (MP-1)	$\frac{2.09 \times 10^2}{(2.09 \times 10^2)}$	$\frac{95}{(95\%)}$	5分継続	線量率高	野外 (低レンジ) 放射線 高	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	有	無なら良
	$\frac{2.31 \times 10^2}{(2.31 \times 10^2)}$	$\frac{105}{(105\%)}$	5分以内	線量率高	野外 (低レンジ) 放射線 高	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	有	有なら良
	$\frac{2.09 \times 10^3}{(2.09 \times 10^3)}$	$\frac{95}{(95\%)}$	5分継続	線量率高	野外 (低レンジ) 放射線 高	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	有	無なら良
	$\frac{2.31 \times 10^3}{(2.31 \times 10^3)}$	$\frac{105}{(105\%)}$	5分以内	線量率高	野外 (低レンジ) 放射線 高	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	有	有なら良

成績書 (頁)

データ採取等の記録 (設定値確認検査)

検査年月日 2023年 9月 8日  
 検査受検担当者

1. モニタリングポスト MP-1  
 (2) 高レンジモニタ

モニタ 名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 (nGy/h) <設定値に対する 割合>	確認事項				備考	結果		
			正常に作動 (1分以内)	野外放射線 モニタ盤	警報				表示 点灯	警報 吹鳴
					線量率高高	野外 (高レンジ) 放射線 高				
モニタリングポスト (MP-1)	1.00×10 <sup>3</sup>	8.00×10 <sup>2</sup> <80%>	有・ <del>無</del>	線量率高高	野外 (高レンジ) 放射線 高	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	√	無なら良
		1.20×10 <sup>3</sup> <120%>	有・ <del>無</del>	線量率高高	野外 (高レンジ) 放射線 高	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	√	有なら良
	1.00×10 <sup>4</sup>	8.00×10 <sup>3</sup> <80%>	有・ <del>無</del>	線量率高高	野外 (高レンジ) 放射線 高	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	√	無なら良
		1.20×10 <sup>4</sup> <120%>	有・ <del>無</del>	線量率高高	野外 (高レンジ) 放射線 高	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	√	有なら良

## 機能性能検査記録

検査年月日: 2023年9月11日

検査員: 

## 1. 設定値確認検査

名称	判定基準	結果	確認方法	備考
モニタリングポスト MP-1	低レンジモニタ 警報設定値の95%の入力に対して5分の間、作動しないこと。 警報設定値の105%の入力に対して5分以内に作動すること。		立会・記録確認	
	高レンジモニタ 警報設定値の80%の値で1分間の間、作動しないこと。 警報設定値の120%の値で1分以内に作動すること。			
モニタリングポスト MP-3	低レンジモニタ 警報設定値の95%の入力に対して5分の間、作動しないこと。 警報設定値の105%の入力に対して5分以内に作動すること。		立会・記録確認	別紙-6-3 参照
	高レンジモニタ 警報設定値の80%の値で1分間の間、作動しないこと。 警報設定値の120%の値で1分以内に作動すること。			
モニタリングポスト MP-5	低レンジモニタ 警報設定値の95%の入力に対して5分の間、作動しないこと。 警報設定値の105%の入力に対して5分以内に作動すること。	良	立会・記録確認	
	高レンジモニタ 警報設定値の80%の値で1分間の間、作動しないこと。 警報設定値の120%の値で1分以内に作動すること。	良	立会・記録確認	

データ採取等の記録 (設定値確認検査)

検査年月日 2023年 9月 11日  
 検査受検担当者

3. モニタリングポスト MP-5  
 (1) 低レンジモニタ

モニタ名称	線量率表示 (nGy/h)	基準に対する割合 (nGy/h)	判定時間	確認事項				結果	備考
				警報		表示 点灯	警報 吹鳴		
				野外放射線 モニタ盤	共通盤				
モニタリングポスト (MP-5)	$\frac{2.09 \times 10^2}{(2.09 \times 10^2)}$	$\frac{95}{(95\%)}$	5分継続	線量率高	野外 (低レンジ) 放射線 高	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	✓	無なら良
	$\frac{2.31 \times 10^2}{(2.31 \times 10^2)}$	$\frac{105}{(105\%)}$	5分以内	線量率高	野外 (低レンジ) 放射線 高	<del>有</del> ・無	<del>有</del> ・無	✓	有なら良
	$\frac{2.09 \times 10^3}{(2.09 \times 10^3)}$	$\frac{95}{(95\%)}$	5分継続	線量率高	野外 (低レンジ) 放射線 高	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	✓	無なら良
	$\frac{2.31 \times 10^3}{(2.31 \times 10^3)}$	$\frac{105}{(105\%)}$	5分以内	線量率高	野外 (低レンジ) 放射線 高	<del>有</del> ・無	<del>有</del> ・無	✓	有なら良

成績書 (頁)




データ採取等の記録 (設定値確認検査)

検査年月日 2023年 9月 11日  
 検査受検担当者

3. モニタリングポスト MP-5  
 (2) 高レンジモニタ

モニタ 名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 (nGy/h) <設定値に対する 割合>	確認事項					備考	
			正常に作動 (1分以内)	野外放射線 モニタ盤	警報		表示 点灯		警報 吹鳴
					線量率高高	野外(高レンジ) 放射線 高			
モニタリングポスト (MP-5)	1.00×10 <sup>3</sup>	8.00×10 <sup>2</sup> <80%>	有・ <del>無</del>	線量率高高	野外(高レンジ) 放射線 高	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	有	無なら良
		1.20×10 <sup>3</sup> <120%>	有・無	線量率高高	野外(高レンジ) 放射線 高	<del>有</del> ・無	<del>有</del> ・無	有	有なら良
	1.00×10 <sup>4</sup>	8.00×10 <sup>3</sup> <80%>	有・ <del>無</del>	線量率高高	野外(高レンジ) 放射線 高	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	有	無なら良
		1.20×10 <sup>4</sup> <120%>	有・無	線量率高高	野外(高レンジ) 放射線 高	<del>有</del> ・無	<del>有</del> ・無	有	有なら良

検査実施責任者

2023.9.6



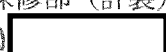
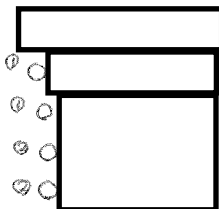
**使用前事業者検査(施設) 体制**  
**(島根原子力発電所共用設備モニタリングポスト高レンジ検出器他取替工事)**

要領書番号： S2-17-施 042-2

検査項目：特性検査、機能性能検査

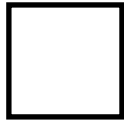
検査実施日： 2023年 9月 7日

1. 検査体制表

検査実施責任者 (1)			
独立組織の一般管理職以上	立会場所		
品質保証部 (品質保証) ○ 	管理事務所		
検査員 (1)			
独立組織の技術系社員	立会場所		
品質保証部 (品質保証) ○ 	中央制御室		
検査受検担当者 (1)			
検査受検課長が選任した者	立会場所		
保修部 (計装) ○ 	中央制御室		
検査受検補助者 ( )		協力会社助勢員 (4)	
検査受検課長が選任した者	立会場所	協力会社社員	立会場所
			①中央制御室 ②MP-3

2. 役割分担

「使用前事業者検査 (施設) 実施手順書」に規定する職務とする。

検査実施責任者

2023.9.7



**使用前事業者検査(施設)体制**  
**(島根原子力発電所共用設備モニタリングポスト高レンジ検出器他取替工事)**

要領書番号： S2-17-施 042-2

検査項目：特性検査、機能性能検査

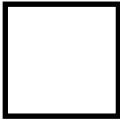
検査実施日：2023年9月8日

1. 検査体制表

検査実施責任者 (1)			
独立組織の一般管理職以上	立会場所		
品質保証部 (品質保証) ○ 	管理事務所		
検査員 (1)			
独立組織の技術系社員	立会場所		
品質保証部 (品質保証) ○ 	中央制御室		
検査受検担当者 (1)			
検査受検課長が選任した者	立会場所		
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	中央制御室	
検査受検補助者 ( )		協力会社助勢員 (4)	
検査受検課長が選任した者	立会場所	協力会社社員	立会場所
		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	①中央制御室 ②MP-1

2. 役割分担

「使用前事業者検査 (施設) 実施手順書」に規定する職務とする。

検査実施責任者

2023.9.8



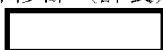
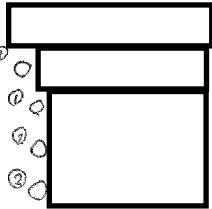
**使用前事業者検査(施設) 体制**  
**(島根原子力発電所共用設備モニタリングポスト高レンジ検出器他取替工事)**

要領書番号： S2-17-施 042-2

検査項目：特性検査、機能性能検査

検査実施日： 2023年9月11日

1. 検査体制表

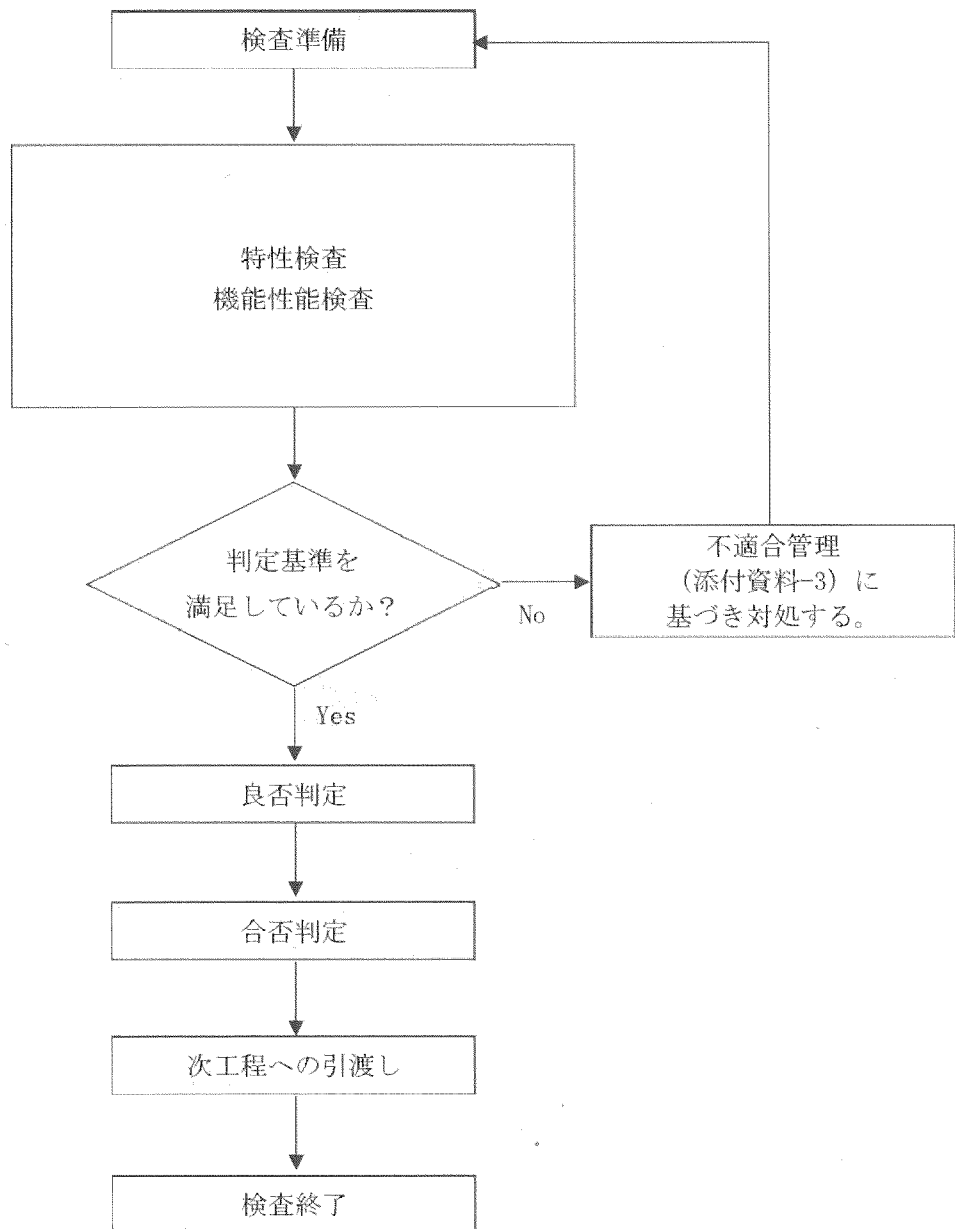
検査実施責任者 (1)			
独立組織の一般管理職以上	立会場所		
品質保証部 (品質保証) 	管理事務所		
検査員 (1)			
独立組織の技術系社員	立会場所		
品質保証部 (品質保証) 	中央制御室		
検査受検担当者 (1)			
検査受検課長が選任した者	立会場所		
保守部 (計装) 	中央制御室		
検査受検補助者 ( )		協力会社助勢員 (4)	
検査受検課長が選任した者	立会場所	協力会社社員	立会場所
			①中央制御室 ②MP-5

2. 役割分担

「使用前事業者検査 (施設) 実施手順書」に規定する職務とする。

## 検査手順 (MP-3)

### 1. 検査工程フロー図



## 2. 検査手順

【検査対象範囲】検査項目表による。

### (1) 準備

確認日：2023.9.7

検査受検担当者：

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 検査要領書が「使用前事業者検査（施設）実施手順書」に従い制定、改正されていることを確認する。	✓	
2. 検査要員が使用する検査要領書が最新版であることを確認する。	✓	(初版) 第 次改正版)
3. 検査体制に従い必要な要員が揃っていることを確認する。	✓	
4. 検査の実施前までに必要な準備事項がすべて完了していることを下記により確認する。	✓	
・当該検査に使用する計器が校正されていることを添付資料－9により確認する	✓	添付資料－9 検査用計器一覧表（兼 校正確認シート）
・検査実施のために必要な試験条件措置が実施されていることを別紙－1により確認する。	✓	別紙－1 試験条件措置チェックシート
・検査に支障がある警報・操作禁止タグがないことを、別紙－2により確認する。	✓	別紙－2 検査前の警報管理シート
・検査対象機器の外観及び据付状態に有害な欠陥がないことを確認する。	✓	

(2) データ採取等

確認日：2023.9.7

検査受検担当者：

a. 特性検査

(a) 線源校正検査

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 別紙-3-1に従い、データ採取を実施し、別紙-6-1に記録する。	✓	別紙-3-1 検査手順チェックシート 別紙-6-1 データ採取等の記録(線源校正検査)

(b) 記録計指示対応検査

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 別紙-3-1に従い、データ採取を実施し、別紙-6-2に記録する。	✓	別紙-3-1 検査手順チェックシート 別紙-6-2 データ採取等の記録(記録計指示対応検査)

b. 機能性能検査

(a) 設定値確認検査

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 別紙-3-2に従い、データ採取を実施し、別紙-6-3に記録する。	✓	別紙-3-2 検査手順チェックシート 別紙-6-3 データ採取等の記録(設定値確認検査)

(3) 良否判定

確認日: 2023.9.7

検査員:

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. データ採取等の結果が判定基準を満足していることを確認し、検査記録に取りまとめる。	✓	添付-1 特性検査記録 添付-2 機能性能検査記録

(4) 合否判定

確認日: 2023.9.7

検査実施責任者:

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 検査要領書に基づいて検査が適正に行われたことを確認する。	✓	
2. 検査の合否判定を行う。	✓	

(5) 次工程への引渡し

確認日: 2023.9.7

検査実施責任者:

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 全てのプロセスが完了したことを確認する。	✓	
2. 検査受検課長へ検査が完了したことを連絡する。 (次工程への引渡し)	✓	



試験条件措置チェックシート-1

No.	内 容	目 的	実施時確認		備 考
			確認 (レ点チェック)	確認日 確認者	
1	Nai調整中	警報発報防止(線源校正検査、記録計指示対応検査)	✓		
2	IC調整中	警報発報防止(線源校正検査、記録計指示対応検査)	✓		
3	MP1 高レンジモニタ線量率 除外(G035)	計算機除外			
4	MP3 高レンジモニタ線量率 除外(G037)	計算機除外	✓		
5	MP5 高レンジモニタ線量率 除外(G039)	計算機除外			
6	MP1 高レンジモニタ計算機出力 ケーブル切離し(C09101-①、②)	計算機への出力防止			
7	MP3 高レンジモニタ計算機出力 ケーブル切離し(C09101-⑤、⑥)	計算機への出力防止	✓		
8	MP5 高レンジモニタ計算機出力 ケーブル切離し(C09101-⑨、⑩)	計算機への出力防止			
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

成績書(頁)

## 検査前の警報管理シート

【該当箇所】

・共通盤（2-965-1盤） ※モニタリングポストに関連する警報に限る。

警報名	発報理由	検査への 支障の有無	確認者	備考
野外(低レンジ) モニタ	MP-2,4,6における 無線装置取替工事のため	支障なし	2023.9.7 <input type="text"/>	
野外(高レンジ) モニタ	MP-2,4,6における 無線装置取替工事のため	支障なし	2023.9.7 <input type="text"/>	

注) 本シートへ記録する警報は、検査前に発報している警報を記録し、検査進行等に影響のないことを確認するために使用するもので、検査開始後に発報した警報は「島根原子力発電所使用前事業者検査（施設）実施手順書」に定める不適合発生時の対応フローに従い対応する。

【該当箇所】

・野外放射線モニタ盤（916B盤）

操作禁止タグ 取付箇所※1	取付理由	検査への 支障有無	確認者	備考
該当なし				

※1 検査準備に伴うものは除く

検査対象機器 : モニタリングポストMP-3

確認日 : 2023.9.7

検査受検担当者 : 

## 検査手順チェックシート

## 1. 特性検査

## (1) 線源校正検査

## a. 高レンジモニタ

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(1) 検査受験担当者は、協力会社助勢員に 916B 盤の操作表示器の当該モニタリングポスト高レンジモニタ操作表示器線量率で指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し確認する。 なお、指示値は、約 10 秒間隔で 10 回読み取って記録し、その平均値をバックグラウンドとする。	✓	別紙-4 指示値読み取り記録シート
(2) 検査受験担当者は、協力会社助勢員に 916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) の当該モニタリングポストの指示値を読み取り、その値を別紙-4 に記録するよう指示し確認する。	✓	別紙-4 指示値読み取り記録シート
(3) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に、当該高レンジモニタに線源校正治具 (線源を含む) を取付けるよう指示する。	✓	
(4) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に、線源を取り付けた状態の校正用治具と当該モニタリングポストの検出器との距離が、別紙-5 に記載されている値であることを確認し記録するよう指示し、その報告により確認する。	✓	別紙-5 線源校正用治具確認チェックシート
(5) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に、標準ガンマ線源 ( $^{226}\text{Ra}$ ) を検出器中心から 500mm の距離に設定するよう指示し、その報告により確認する。	✓	別紙-5 線源校正用治具確認チェックシート
(6) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの指示が安定したことを確認するよう指示し確認する	✓	

成績書(頁)

32

内容	確認 (レ点チェック)	備考
<p>(7) 検査受検担当者は指示安定を確認後、協力会社助勢員に、916B 盤の操作表示器線量率で指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p> <p>なお、読み取りにあたっては、約 10 秒間隔で 10 回読み取って記録する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>
<p>(8) 検査受検担当者は協力会社助勢員に、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で当該モニタリングポストの指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>
<p>(9) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に、標準ガンマ線源 (<math>^{226}\text{Ra}</math>) を検出器中心から 1000mm の距離に設定するよう指示し、その報告により確認する。</p>	✓	<p>別紙-5 線源校正用治具確認チェックシート</p>
<p>(10) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの指示が安定したことを確認するよう指示し確認する</p>	✓	
<p>(11) 検査受検担当者は指示安定を確認後、協力会社助勢員に、916B 盤の操作表示器線量率で指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p> <p>なお、読み取りにあたっては、約 10 秒間隔で 10 回読み取って記録する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>
<p>(12) 検査受検担当者は協力会社助勢員に、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で当該モニタリングポストの指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>
<p>(13) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に、標準ガンマ線源 (<math>^{226}\text{Ra}</math>) を検出器中心から 1500mm の距離に設定するよう指示し、その報告により確認する。</p>	✓	<p>別紙-5 線源校正用治具確認チェックシート</p>
<p>(14) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの指示が安定したことを確認するよう指示し確認する</p>	✓	
<p>(15) 検査受検担当者は指示安定を確認後、協力会社助勢員に、916B 盤の操作表示器線量率で指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p> <p>なお、読み取りにあたっては、約 10 秒間隔で 10 回読み取って記録する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>
<p>(16) 検査受検担当者は協力会社助勢員に、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で当該モニタリングポストの指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(17) 検査受検担当者は、別紙-4 に記載のバックグラウンド値および読み取り指示値を別紙-6-1 に記録し、採取データの記録整理を行う。	✓	別紙-4 指示値読み取り記録シート 別紙-6-1 データ採取等の記録 (線源校正検査)

(2) 記録計指示対応検査

a. 低レンジモニタ

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(1) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの低レンジモニタ計測部ユニットに試験装置を接続し、記録計指示値が $3.0 \times 10^1 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $6.44 \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(2) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (NaI)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(3) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^2 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $6.44 \times 10^1 \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(4) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (NaI)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(5) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^3 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $6.44 \times 10^2 \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(6) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (NaI)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(7) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^4 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $6.44 \times 10^3 \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(8) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (NaI)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)

b. 高レンジモニタ

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(1) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの高レンジモニタ計測部ユニットに試験装置を接続し、記録計指示値が $3.0 \times 10^1 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^{-1} \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(2) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(3) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^2 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(4) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(5) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^3 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^1 \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(6) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(7) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^4 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^2 \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(8) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(9) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^5 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^3 \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(10) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(11) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^6 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^4 \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(12) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(13) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^7 \text{ nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^5 \text{ s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(14) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)

検査対象機器 : モニタリングポストMP-3

確認日 : 2023.9.7

検査受検担当者 : 

## 検査手順チェックシート

## 2. 機能性能検査

## (1) 設定値確認検査

## a. 低レンジモニタ

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(1) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの低レンジモニタ計測部ユニットに試験装置を接続し、916B 盤操作表示器の低レンジモニタ指示値を「線量率 高」警報設定値の 95%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(2) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高」(低レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (低レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 5 分間に作動しないことを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(3) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の低レンジモニタ指示値を「線量率 高」警報設定値の 105%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(4) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高」(低レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (低レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 5 分以内に作動することを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(5) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の低レンジモニタ指示値を「線量率 高高」警報設定値の 95%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(6) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高高」(低レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (低レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 5 分間に作動しないことを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(7) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の低レンジモニタ指示値を「線量率 高高」警報設定値の 105%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	



内容	確認 (レ点チェック)	備考
(8) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高高」(低レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (低レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 5 分以内に作動することを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)

b. 高レンジモニタ

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(1) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの高レンジモニタ計測部ユニットに試験装置を接続し、916B 盤操作表示器の高レンジモニタ指示値を「線量率 高」警報設定値の 80%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(2) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高」(高レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (高レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 1 分の間に作動しないことを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(3) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の高レンジモニタ指示値を「線量率 高」警報設定値の 120%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(4) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高」(高レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (高レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 1 分以内に作動することを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(5) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の高レンジモニタ指示値を「線量率 高高」警報設定値の 80%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(6) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高高」(高レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (高レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 1 分の間に作動しないことを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(7) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の高レンジモニタ指示値を「線量率 高高」警報設定値の 120%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(8) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高高」(高レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (高レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 1 分以内に作動することを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)

## 指示値読み取り記録シート (MP-3 , 高レンジモニタ)

確認年月日 2023 年 9 月 17 日

検査受検担当者

協力会社助勢員

### 1. デジタル式

		指示値 (読み取り)			
		×10nGy/h	×10 <sup>3</sup> nGy/h	×10 <sup>2</sup> nGy/h	×10 <sup>2</sup> nGy/h
		バックグラウンド	検出器中心から基準γ線源までの距離		
500mm	1,000mm		1,500mm		
読み取り回数	1	7.24	2.79	7.38	3.76
	2	7.21	2.76	7.48	3.75
	3	7.04	2.72	7.56	3.76
	4	7.03	2.77	7.45	3.68
	5	7.03	2.73	7.55	3.74
	6	7.02	2.74	7.46	3.70
	7	6.97	2.74	7.44	3.68
	8	7.17	2.76	7.53	3.74
	9	7.15	2.73	7.51	3.72
	10	7.12	2.77	7.44	3.71
合計		70.98	27.51	74.80	37.24
平均値*		7.10	2.76	7.48	3.73

### 2. アナログ式 対数

		指示値 (読み取り)			
		×10nGy/h	×10 <sup>3</sup> nGy/h	×10 <sup>2</sup> nGy/h	×10 <sup>2</sup> nGy/h
		バックグラウンド	検出器中心から基準γ線源までの距離		
500mm	1,000mm		1,500mm		
読取値		7.1	2.8	7.5	3.7

\* 平均値の端数処理方法

- ・バックグラウンド指示値の平均値は四捨五入処理を行う。
- ・線源照射中の指示値の平均値は、バックグラウンド指示値の平均値を差し引いた正味線量率が許容範囲の中心に対して安全側（厳しい側）となるように切り上げ、または、切り捨て処理を行う。

成績書(頁)

39

## 線源校正用治具確認チェックシート

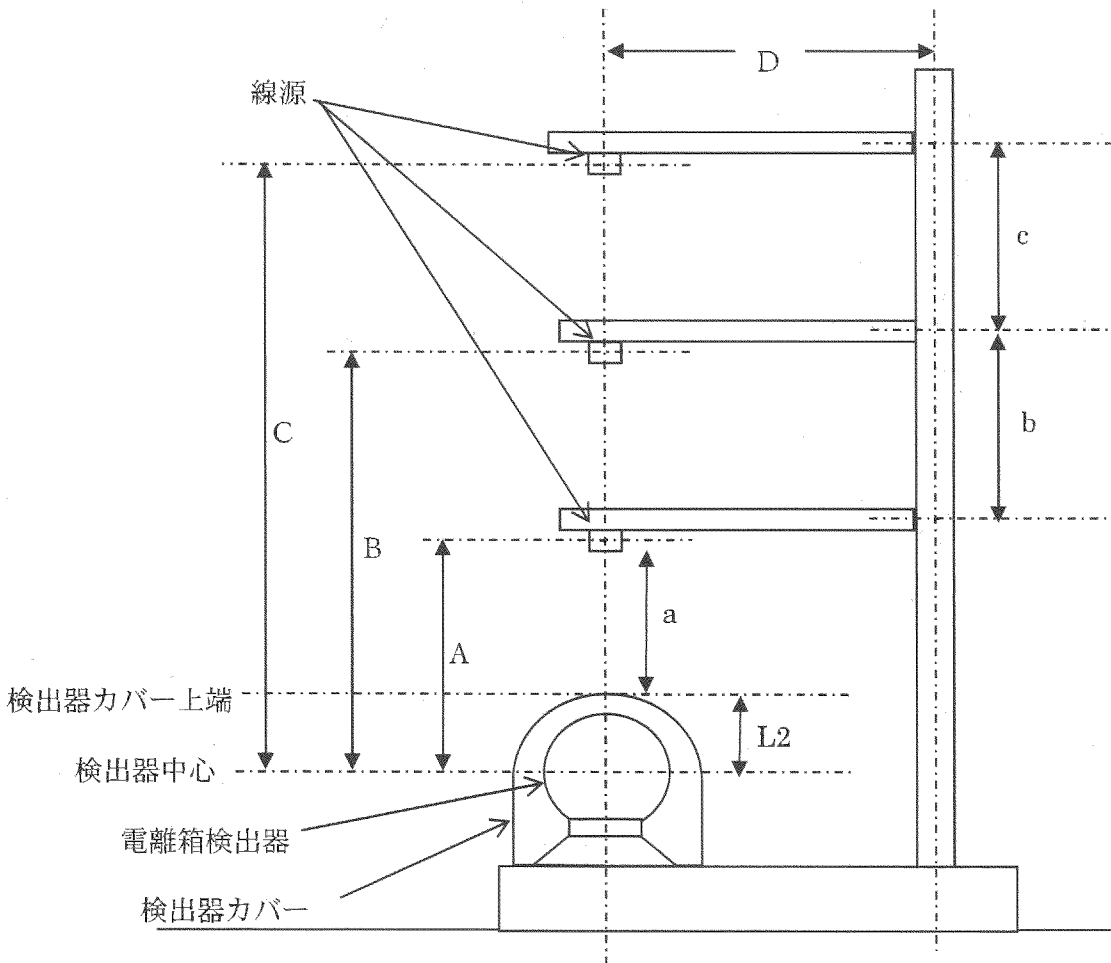
(MP-3, 高レンジモニタ)

確認年月日 2023年 9月 7日  
 検査受検担当者  

測定項目	設定値 (mm)	判定基準 (mm)	測定値 (mm) (L2=222 mm) ※	結果	備考
検出器中心から線源までの距離	A	500	500±2 a+L2=501 (a= 279)	✓	
	B	1,000	1000±2 A+b=1001 (b= 500)	✓	
	C	1,500	1500±2 A+b+c=1501 (b=500, c= 500)	✓	
検出器中心と線源校正器具との距離	D	381	381±2.5  381	✓	

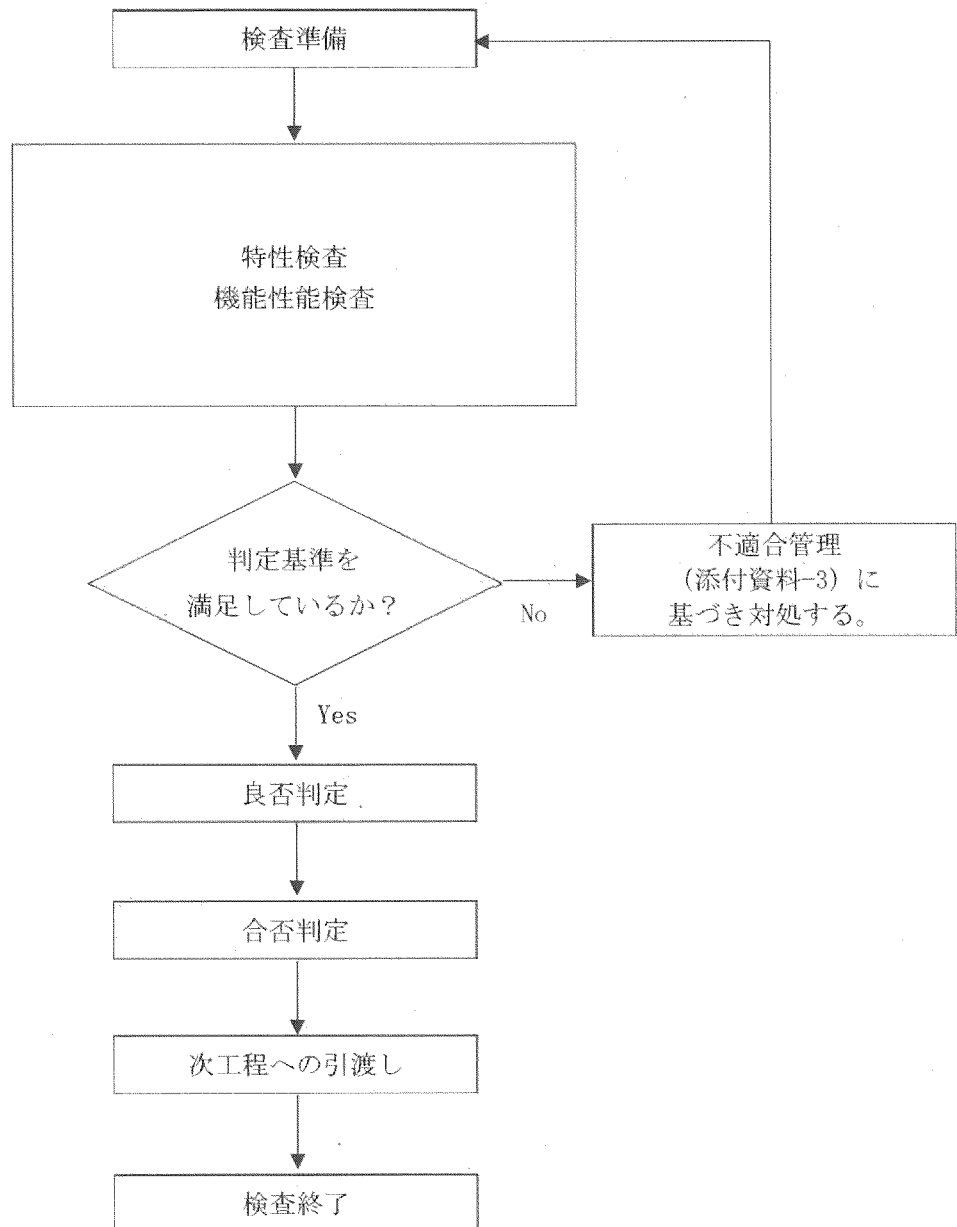
※

モニタリングポスト	MP-1	MP-3	MP-5
L2 (mm)	224	222	219



## 検査手順 (MP-1)

### 1. 検査工程フロー図



## 2. 検査手順

【検査対象範囲】検査項目表による。

### (1) 準備

確認日：2023.9.8

検査受検担当者：

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 検査要領書が「使用前事業者検査（施設）実施手順書」に従い制定、改正されていることを確認する。	✓	
2. 検査要員が使用する検査要領書が最新版であることを確認する。	✓	初版・第 次改正版)
3. 検査体制に従い必要な要員が揃っていることを確認する。	✓	
4. 検査の実施前までに必要な準備事項がすべて完了していることを下記により確認する。	✓	
・当該検査に使用する計器が校正されていることを添付資料-9により確認する	✓	添付資料-9 検査用計器一覧表（兼 校正確認シート）
・検査実施のために必要な試験条件措置が実施されていることを別紙-1により確認する。	✓	別紙-1 試験条件措置チェックシート
・検査に支障がある警報・操作禁止タグがないことを、別紙-2により確認する。	✓	別紙-2 検査前の警報管理シート
・検査対象機器の外観及び据付状態に有害な欠陥がないことを確認する。	✓	

(2) データ採取等

確認日： 2023.9.8

検査受検担当者：

a. 特性検査

(a) 線源校正検査

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 別紙-3-1に従い、データ採取を実施し、別紙-6-1に記録する。	✓	別紙-3-1 検査手順チェックシート 別紙-6-1 データ採取等の記録（線源校正検査）

(b) 記録計指示対応検査

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 別紙-3-1に従い、データ採取を実施し、別紙-6-2に記録する。	✓	別紙-3-1 検査手順チェックシート 別紙-6-2 データ採取等の記録（記録計指示対応検査）

b. 機能性能検査

(a) 設定値確認検査

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 別紙-3-2に従い、データ採取を実施し、別紙-6-3に記録する。	✓	別紙-3-2 検査手順チェックシート 別紙-6-3 データ採取等の記録（設定値確認検査）

(3) 良否判定

確認日： 2023.9.8

検査員：

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. データ採取等の結果が判定基準を満足していることを確認し、検査記録に取りまとめる。	✓	添付-1 特性検査記録 添付-2 機能性能検査記録

(4) 合否判定

確認日： 2023.9.8

検査実施責任者：

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 検査要領書に基づいて検査が適正に行われたことを確認する。	✓	
2. 検査の合否判定を行う。	✓	

(5) 次工程への引渡し

確認日： 2023.9.8

検査実施責任者：

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 全てのプロセスが完了したことを確認する。	✓	
2. 検査受検課長へ検査が完了したことを連絡する。 (次工程への引渡し)	✓	

成績書(頁)	44
--------	----

試験条件措置チェックシート-1

No.	内 容	目 的	実施時確認		備 考
			確認 (レ点チェック)	確認日 確認者	
1	No.調整中	警報発報防止(線源校正検査、記録計指示対応検査)	✓		
2	IC調整中	警報発報防止(線源校正検査、記録計指示対応検査)	✓		
3	MP1 高レンジモニタ線量率 除外(G035)	計算機除外	✓		
4	MP3 高レンジモニタ線量率 除外(G037)	計算機除外			
5	MP5 高レンジモニタ線量率 除外(G039)	計算機除外			
6	MP1 高レンジモニタ計算機出力 ケーブル切離し(C09101-①、②)	計算機への出力防止	✓		
7	MP3 高レンジモニタ計算機出力 ケーブル切離し(C09101-⑤、⑥)	計算機への出力防止			
8	MP5 高レンジモニタ計算機出力 ケーブル切離し(C09101-⑨、⑩)	計算機への出力防止			
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					



## 検査前の警報管理シート

【該当箇所】

・共通盤（2-965-1盤） ※モニタリングポストに関連する警報に限る。

警報名	発報理由	検査への 支障の有無	確認者	備考
野外(低レンジ)モニタ	MP-2,4,6における 無線装置取替工事時のため	支障なし	2023.9.8 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div>	
野外(高レンジ)モニタ	MP-2,4,6における 無線装置取替工事時のため	支障なし	2023.9.8 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div>	

注) 本シートへ記録する警報は、検査前に発報している警報を記録し、検査進行等に影響のないことを確認するために使用するもので、検査開始後に発報した警報は「島根原子力発電所使用前事業者検査（施設）実施手順書」に定める不適合発生時の対応フローに従い対応する。

【該当箇所】

・野外放射線モニタ盤（916B盤）

操作禁止タグ 取付箇所※1	取付理由	検査への 支障有無	確認者	備考
該当なし				

※1 検査準備に伴うものは除く

検査対象機器 : モニタリングポストMP-1

確認日 : 2023.9.8

検査受検担当者 : 

## 検査手順チェックシート

## 1. 特性検査

## (1) 線源校正検査

## a. 高レンジモニタ

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(1) 検査受験担当者は、協力会社助勢員に 916B 盤の操作表示器の当該モニタリングポスト高レンジモニタ操作表示器線量率で指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し確認する。 なお、指示値は、約 10 秒間隔で 10 回読み取って記録し、その平均値をバックグラウンドとする。	✓	別紙-4 指示値読み取り記録シート
(2) 検査受験担当者は、協力会社助勢員に 916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) の当該モニタリングポストの指示値を読み取り、その値を別紙-4 に記録するよう指示し確認する。	✓	別紙-4 指示値読み取り記録シート
(3) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に、当該高レンジモニタに線源校正治具 (線源を含む) を取付けるよう指示する。	✓	
(4) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に、線源を取り付けた状態の校正用治具と当該モニタリングポストの検出器との距離が、別紙-5 に記載されている値であることを確認し記録するよう指示し、その報告により確認する。	✓	別紙-5 線源校正用治具確認チェックシート
(5) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に、標準ガンマ線源 ( $^{226}\text{Ra}$ ) を検出器中心から 500mm の距離に設定するよう指示し、その報告により確認する。	✓	別紙-5 線源校正用治具確認チェックシート
(6) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの指示が安定したことを確認するよう指示し確認する	✓	

成績書(頁)

47

内容	確認 (レ点チェック)	備考
<p>(7) 検査受検担当者は指示安定を確認後、協力会社助勢員に、916B 盤の操作表示器線量率で指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p> <p>なお、読み取りにあたっては、約 10 秒間隔で 10 回読み取って記録する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>
<p>(8) 検査受検担当者は協力会社助勢員に、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で当該モニタリングポストの指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>
<p>(9) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に、標準ガンマ線源 (<math>^{226}\text{Ra}</math>) を検出器中心から 1000mm の距離に設定するよう指示し、その報告により確認する。</p>	✓	<p>別紙-5 線源校正用治具確認チェックシート</p>
<p>(10) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの指示が安定したことを確認するよう指示し確認する</p>	✓	
<p>(11) 検査受検担当者は指示安定を確認後、協力会社助勢員に、916B 盤の操作表示器線量率で指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p> <p>なお、読み取りにあたっては、約 10 秒間隔で 10 回読み取って記録する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>
<p>(12) 検査受検担当者は協力会社助勢員に、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で当該モニタリングポストの指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>
<p>(13) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に、標準ガンマ線源 (<math>^{226}\text{Ra}</math>) を検出器中心から 1500mm の距離に設定するよう指示し、その報告により確認する。</p>	✓	<p>別紙-5 線源校正用治具確認チェックシート</p>
<p>(14) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの指示が安定したことを確認するよう指示し確認する</p>	✓	
<p>(15) 検査受検担当者は指示安定を確認後、協力会社助勢員に、916B 盤の操作表示器線量率で指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p> <p>なお、読み取りにあたっては、約 10 秒間隔で 10 回読み取って記録する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>
<p>(16) 検査受検担当者は協力会社助勢員に、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で当該モニタリングポストの指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(17) 検査受検担当者は、別紙-4 に記載のバックグラウンド値および読み取り指示値を別紙-6-1 に記録し、採取データの記録整理を行う。	✓	別紙-4 指示値読み取り記録シート 別紙-6-1 データ採取等の記録 (線源校正検査)

(2) 記録計指示対応検査

a. 低レンジモニタ

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(1) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの低レンジモニタ計測部ユニットに試験装置を接続し、記録計指示値が $3.0 \times 10^1 \text{ nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $6.44 \text{ s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(2) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (NaI)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(3) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^2 \text{ nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $6.44 \times 10^1 \text{ s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(4) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (NaI)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(5) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $6.44 \times 10^2 \text{ s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(6) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (NaI)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(7) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^4 \text{ nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $6.44 \times 10^3 \text{ s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(8) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (NaI)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)

b. 高レンジモニタ

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(1) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの高レンジモニタ計測部ユニットに試験装置を接続し、記録計指示値が $3.0 \times 10^1 \text{ nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^{-1} \text{ s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(2) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(3) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^2 \text{ nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \text{ s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(4) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(5) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^1 \text{ s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(6) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(7) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^4 \text{ nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^2 \text{ s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(8) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(9) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^5 \text{ nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^3 \text{ s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(10) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(11) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^6 \text{ nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^4 \text{ s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(12) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(13) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^7 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^5 \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(14) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)

検査対象機器 : モニタリングポストMP-1

確認日 : 2023.9.8

検査受検担当者 : 

## 検査手順チェックシート

## 2. 機能性能検査

## (1) 設定値確認検査

## a. 低レンジモニタ

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(1) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの低レンジモニタ計測部ユニットに試験装置を接続し、916B 盤操作表示器の低レンジモニタ指示値を「線量率 高」警報設定値の 95%の値となるよう、試験装置から電気的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(2) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高」(低レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (低レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 5 分間に作動しないことを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(3) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の低レンジモニタ指示値を「線量率 高」警報設定値の 105%の値となるよう、試験装置から電気的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(4) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高」(低レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (低レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 5 分以内に作動することを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(5) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の低レンジモニタ指示値を「線量率 高高」警報設定値の 95%の値となるよう、試験装置から電気的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(6) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高高」(低レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (低レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 5 分間に作動しないことを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(7) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の低レンジモニタ指示値を「線量率 高高」警報設定値の 105%の値となるよう、試験装置から電気的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(8) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高高」(低レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (低レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 5 分以内に作動することを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)

b. 高レンジモニタ

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(1) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの高レンジモニタ計測部ユニットに試験装置を接続し、916B 盤操作表示器の高レンジモニタ指示値を「線量率 高」警報設定値の 80%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(2) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高」(高レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (高レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 1 分以内に作動しないことを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(3) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の高レンジモニタ指示値を「線量率 高」警報設定値の 120%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(4) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高」(高レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (高レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 1 分以内に作動することを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(5) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の高レンジモニタ指示値を「線量率 高高」警報設定値の 80%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(6) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高高」(高レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (高レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 1 分以内に作動しないことを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(7) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の高レンジモニタ指示値を「線量率 高高」警報設定値の 120%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(8) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高高」(高レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (高レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 1 分以内に作動することを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)



## 指示値読み取り記録シート

(MP-1, 高レンジモニタ)

確認年月日 2023 年 9 月 8 日

検査受検担当者  
協力会社助勢員

## 1. デジタル式

		指示値 (読み取り)			
		×10nGy/h	×10 <sup>3</sup> nGy/h	×10 <sup>2</sup> nGy/h	×10 <sup>2</sup> nGy/h
		バックグラウンド	検出器中心から基準γ線源までの距離		
500mm	1,000mm		1,500mm		
読み取り回数	1	5.59	2.73	7.41	3.58
	2	5.65	2.84	7.41	3.64
	3	5.75	2.83	7.32	3.68
	4	5.87	2.82	7.47	3.63
	5	5.90	2.80	7.38	3.56
	6	5.92	2.78	7.38	3.58
	7	5.92	2.84	7.39	3.63
	8	5.92	2.85	7.31	3.61
	9	5.93	2.80	7.24	3.65
	10	5.94	2.85	7.26	3.57
合計		58.39	28.14	73.57	36.13
平均値*		5.84	2.82	7.36	3.62

## 2. アナログ式 対数

		指示値 (読み取り)			
		×10nGy/h	×10 <sup>3</sup> nGy/h	×10 <sup>2</sup> nGy/h	×10 <sup>2</sup> nGy/h
		バックグラウンド	検出器中心から基準γ線源までの距離		
500mm	1,000mm		1,500mm		
読取値		5.9	2.8	7.4	3.6

\* 平均値の端数処理方法

- ・バックグラウンド指示値の平均値は四捨五入処理を行う。
- ・線源照射中の指示値の平均値は、バックグラウンド指示値の平均値を差し引いた正味線量率が許容範囲の中心に対して安全側（厳しい側）となるように切り上げ、または、切り捨て処理を行う。

成績書(頁)

54

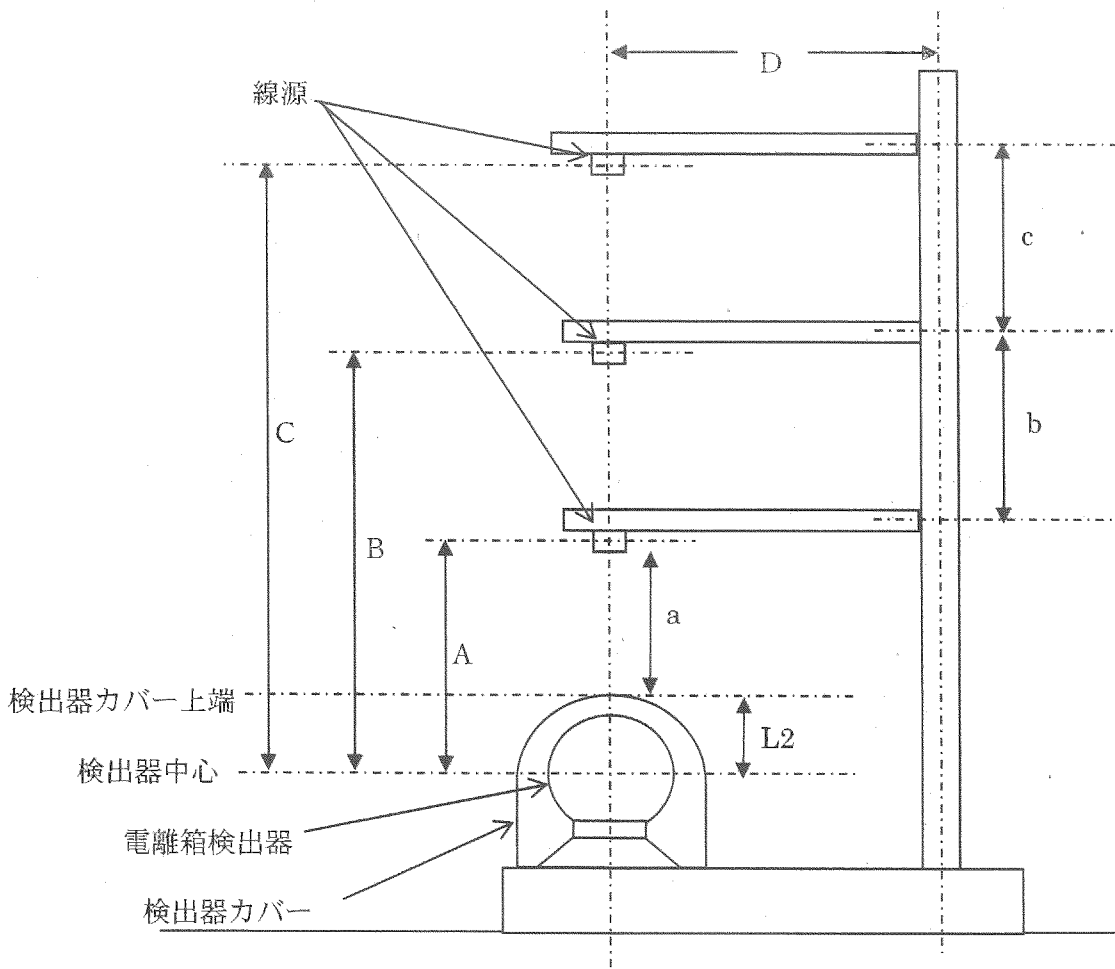
## 線源校正用治具確認チェックシート

(MP-1, 高レンジモニタ)

確認年月日 2023年9月8日  
 検査受検担当者

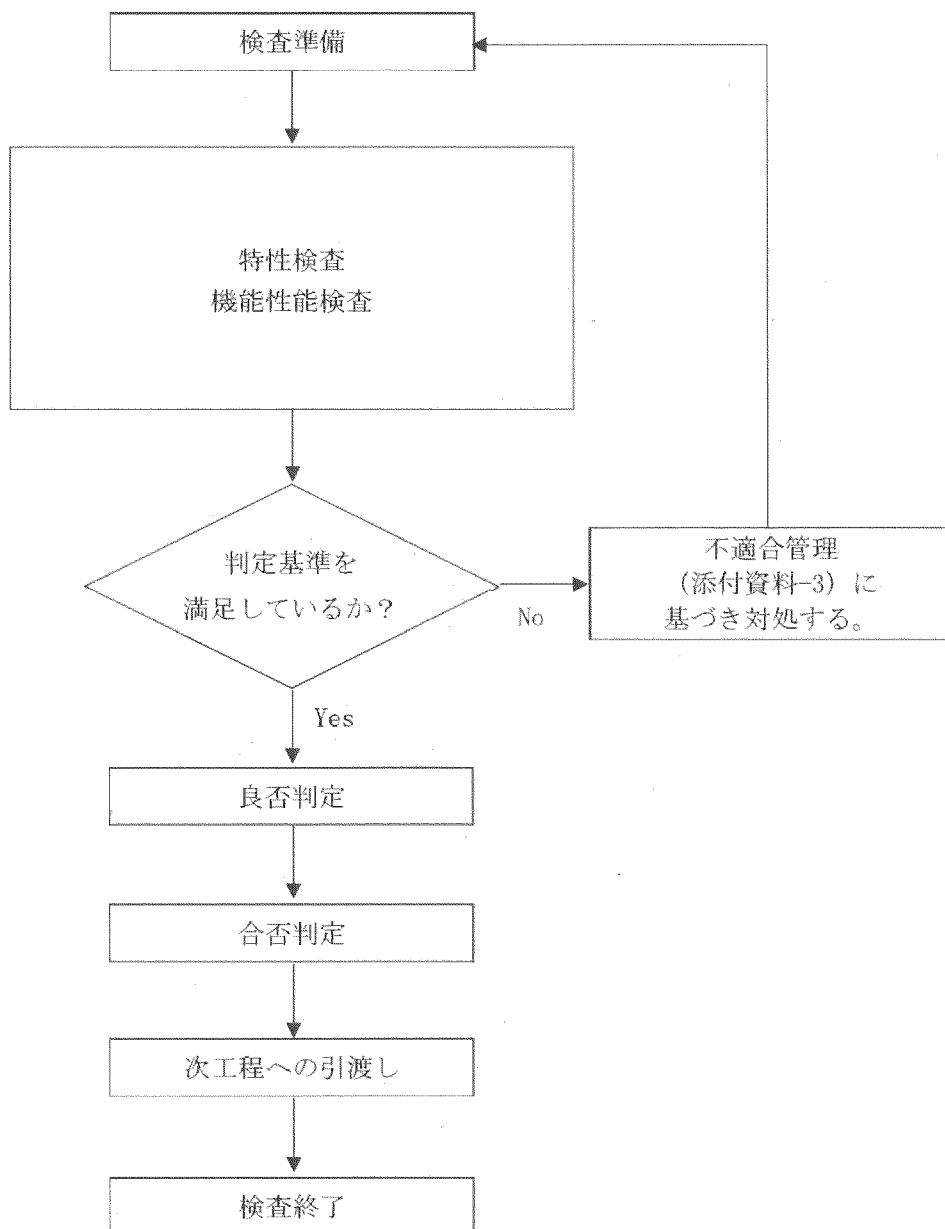
測定項目	設定値 (mm)	判定基準 (mm)	測定値 (mm) [L2=224 mm] ※	結果	備考
検出器中心から線源までの距離	A	500	500±2 <small>a+L2=500 (a=276)</small>	✓	
	B	1,000	1000±2 <small>A+b=1000 (b=500)</small>	✓	
	C	1,500	1500±2 <small>A+b+c=1500 (b=500, c=500)</small>	✓	
検出器中心と線源校正治具との距離	D	381	381±2.5  381	✓	

※ モニタリングポスト	MP-1	MP-3	MP-5
L2 (mm)	224	222	219



## 検査手順 (MP-5)

### 1. 検査工程フロー図



2. 検査手順

【検査対象範囲】検査項目表による。

(1) 準備

確認日：2023.9.11

検査受検担当者：

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 検査要領書が「使用前事業者検査（施設）実施手順書」に従い制定、改正されていることを確認する。	✓	
2. 検査要員が使用する検査要領書が最新版であることを確認する。	✓	初版・第 次改正版
3. 検査体制に従い必要な要員が揃っていることを確認する。	✓	
4. 検査の実施前までに必要な準備事項がすべて完了していることを下記により確認する。	✓	
・当該検査に使用する計器が校正されていることを添付資料－9により確認する	✓	添付資料－9 検査用計器一覧表（兼 校正確認シート）
・検査実施のために必要な試験条件措置が実施されていることを別紙－1により確認する。	✓	別紙－1 試験条件措置チェックシート
・検査に支障がある警報・操作禁止タグがないことを、別紙－2により確認する。	✓	別紙－2 検査前の警報管理シート
・検査対象機器の外観及び据付状態に有害な欠陥がないことを確認する。	✓	

(2) データ採取等

確認日: 2023.9.11

検査受検担当者:

a. 特性検査

(a) 線源校正検査

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 別紙-3-1に従い、データ採取を実施し、別紙-6-1に記録する。	✓	別紙-3-1 検査手順チェックシート 別紙-6-1 データ採取等の記録(線源校正検査)

(b) 記録計指示対応検査

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 別紙-3-1に従い、データ採取を実施し、別紙-6-2に記録する。	✓	別紙-3-1 検査手順チェックシート 別紙-6-2 データ採取等の記録(記録計指示対応検査)

b. 機能性能検査

(a) 設定値確認検査

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 別紙-3-2に従い、データ採取を実施し、別紙-6-3に記録する。	✓	別紙-3-2 検査手順チェックシート 別紙-6-3 データ採取等の記録(設定値確認検査)

(3) 良否判定

確認日: 2023.9.11

検査員:

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. データ採取等の結果が判定基準を満足していることを確認し、検査記録に取りまとめる。	✓	添付-1 特性検査記録 添付-2 機能性能検査記録

(4) 合否判定

確認日: 2023.9.11

検査実施責任者:

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 検査要領書に基づいて検査が適正に行われたことを確認する。	✓	
2. 検査の合否判定を行う。	✓	

(5) 次工程への引渡し

確認日: 2023.9.11

検査実施責任者:

内 容	確認 (レ点チェック)	備 考
1. 全てのプロセスが完了したことを確認する。	✓	
2. 検査受検課長へ検査が完了したことを連絡する。 (次工程への引渡し)	✓	

試験条件措置チェックシート-1

No.	内 容	目 的	実施時確認		備 考
			確認 (レ点チェック)	確認日 確認者	
1	No.調整中	警報発報防止(線源校正検査、記録計指示対応検査)	✓		
2	IC調整中	警報発報防止(線源校正検査、記録計指示対応検査)	✓		
3	MP1 高レンジモニタ線量率 除外 (G035)	計算機除外			
4	MP3 高レンジモニタ線量率 除外 (G037)	計算機除外			
5	MP5 高レンジモニタ線量率 除外 (G039)	計算機除外	✓		
6	MP1 高レンジモニタ計算機出力 ケーブル切離し(C09101-①、②)	計算機への出力防止			
7	MP3 高レンジモニタ計算機出力 ケーブル切離し(C09101-⑤、⑥)	計算機への出力防止			
8	MP5 高レンジモニタ計算機出力 ケーブル切離し(C09101-⑨、⑩)	計算機への出力防止	✓		
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

成績書(頁)

## 検査前の警報管理シート

【該当箇所】

・共通盤（2-965-1盤） ※モニタリングポストに関連する警報に限る。

警報名	発報理由	検査への 支障の有無	確認者	備考
野外(低レンジ)モニタ	MP-2,4,6における無線 装置取替工事のため	支障なし	2023.9.11 <input type="text"/>	
野外(高レンジ)モニタ	MP-2,4,6における無線 装置取替工事のため	支障なし	2023.9.11 <input type="text"/>	

注) 本シートへ記録する警報は、検査前に発報している警報を記録し、検査進行等に影響のないことを確認するために使用するもので、検査開始後に発報した警報は「島根原子力発電所使用前事業者検査（施設）実施手順書」に定める不適合発生時の対応フローに従い対応する。

【該当箇所】

・野外放射線モニタ盤（916B盤）

操作禁止タグ 取付箇所※1	取付理由	検査への 支障有無	確認者	備考
該当なし				

※1 検査準備に伴うものは除く



検査対象機器 : モニタリングポストMP-5

確認 日 : 2023.9.11

検査受検担当者 : 

## 検査手順チェックシート

## 1. 特性検査

## (1) 線源校正検査

## a. 高レンジモニタ

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(1) 検査受験担当者は、協力会社助勢員に 916B 盤の操作表示器の当該モニタリングポスト高レンジモニタ操作表示器線量率で指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し確認する。 なお、指示値は、約 10 秒間隔で 10 回読み取って記録し、その平均値をバックグラウンドとする。	✓	別紙-4 指示値読み取り記録シート
(2) 検査受験担当者は、協力会社助勢員に 916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) の当該モニタリングポストの指示値を読み取り、その値を別紙-4 に記録するよう指示し確認する。	✓	別紙-4 指示値読み取り記録シート
(3) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に、当該高レンジモニタに線源校正治具 (線源を含む) を取付けるよう指示する。	✓	
(4) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に、線源を取り付けた状態の校正用治具と当該モニタリングポストの検出器との距離が、別紙-5 に記載されている値であることを確認し記録するよう指示し、その報告により確認する。	✓	別紙-5 線源校正用治具確認チェックシート
(5) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に、標準ガンマ線源 ( $^{226}\text{Ra}$ ) を検出器中心から 500mm の距離に設定するよう指示し、その報告により確認する。	✓	別紙-5 線源校正用治具確認チェックシート
(6) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの指示が安定したことを確認するよう指示し確認する	✓	

成績書(頁)

62

内容	確認 (レ点チェック)	備考
<p>(7) 検査受検担当者は指示安定を確認後、協力会社助勢員に、916B 盤の操作表示器線量率で指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p> <p>なお、読み取りにあたっては、約 10 秒間隔で 10 回読み取って記録する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>
<p>(8) 検査受検担当者は協力会社助勢員に、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で当該モニタリングポストの指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>
<p>(9) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に、標準ガンマ線源 (<math>^{226}\text{Ra}</math>) を検出器中心から 1000mm の距離に設定するよう指示し、その報告により確認する。</p>	✓	<p>別紙-5 線源校正用器具確認チェックシート</p>
<p>(10) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの指示が安定したことを確認するよう指示し確認する</p>	✓	
<p>(11) 検査受検担当者は指示安定を確認後、協力会社助勢員に、916B 盤の操作表示器線量率で指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p> <p>なお、読み取りにあたっては、約 10 秒間隔で 10 回読み取って記録する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>
<p>(12) 検査受検担当者は協力会社助勢員に、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で当該モニタリングポストの指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>
<p>(13) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に、標準ガンマ線源 (<math>^{226}\text{Ra}</math>) を検出器中心から 1500mm の距離に設定するよう指示し、その報告により確認する。</p>	✓	<p>別紙-5 線源校正用器具確認チェックシート</p>
<p>(14) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの指示が安定したことを確認するよう指示し確認する</p>	✓	
<p>(15) 検査受検担当者は指示安定を確認後、協力会社助勢員に、916B 盤の操作表示器線量率で指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p> <p>なお、読み取りにあたっては、約 10 秒間隔で 10 回読み取って記録する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>
<p>(16) 検査受検担当者は協力会社助勢員に、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で当該モニタリングポストの指示値を読み取り、別紙-4 に記録するよう指示し、確認する。</p>	✓	<p>別紙-4 指示値読み取り記録シート</p>

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(17) 検査受検担当者は、別紙-4 に記載のバックグラウンド値および読み取り指示値を別紙-6-1 に記録し、採取データの記録整理を行う。	✓	別紙-4 指示値読み取り記録シート 別紙-6-1 データ採取等の記録 (線源校正検査)

(2) 記録計指示対応検査

a. 低レンジモニタ

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(1) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの低レンジモニタ計測部ユニットに試験装置を接続し、記録計指示値が $3.0 \times 10^1 \text{ nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $6.44 \text{ s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(2) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (NaI)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(3) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^2 \text{ nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $6.44 \times 10^1 \text{ s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(4) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (NaI)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(5) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $6.44 \times 10^2 \text{ s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(6) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (NaI)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(7) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^4 \text{ nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $6.44 \times 10^3 \text{ s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(8) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (NaI)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)

b. 高レンジモニタ

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(1) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの高レンジモニタ計測部ユニットに試験装置を接続し、記録計指示値が $3.0 \times 10^1 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^{-1} \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(2) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(3) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^2 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(4) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(5) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^3 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^1 \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(6) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(7) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^4 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^2 \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(8) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(9) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^5 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^3 \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(10) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(11) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^6 \text{nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^4 \text{s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(12) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)
(13) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に記録計指示値が $3.0 \times 10^7 \text{ nGy/h}$ となるよう、試験装置から電氣的模擬信号 $3.00 \times 10^5 \text{ s}^{-1}$ を入力するよう指示する。	✓	
(14) 検査受検担当者は、916B 盤の記録計 (No. 1, 3, 5 (IC)) で、指示値を読み取り、別紙-6-2 に記録する。	✓	別紙-6-2 データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)

検査対象機器 : モニタリングポストMP-5

確認 日 : 2023.9.11

検査受検担当者 : 

## 検査手順チェックシート

## 2. 機能性能検査

## (1) 設定値確認検査

## a. 低レンジモニタ

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(1) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの低レンジモニタ計測部ユニットに試験装置を接続し、916B 盤操作表示器の低レンジモニタ指示値を「線量率 高」警報設定値の 95%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(2) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高」(低レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (低レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 5 分間に作動しないことを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(3) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の低レンジモニタ指示値を「線量率 高」警報設定値の 105%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(4) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高」(低レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (低レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 5 分以内に作動することを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(5) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の低レンジモニタ指示値を「線量率 高高」警報設定値の 95%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(6) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高高」(低レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (低レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 5 分間に作動しないことを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(7) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の低レンジモニタ指示値を「線量率 高高」警報設定値の 105%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(8) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高高」(低レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (低レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 5 分以内に作動することを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)

b. 高レンジモニタ

内容	確認 (レ点チェック)	備考
(1) 検査受検担当者は、協力会社助勢員に当該モニタリングポストの高レンジモニタ計測部ユニットに試験装置を接続し、916B 盤操作表示器の高レンジモニタ指示値を「線量率 高」警報設定値の 80%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(2) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高」(高レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (高レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 1 分以内に作動しないことを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(3) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の高レンジモニタ指示値を「線量率 高」警報設定値の 120%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(4) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高」(高レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (高レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 1 分以内に作動することを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(5) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の高レンジモニタ指示値を「線量率 高高」警報設定値の 80%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(6) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高高」(高レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (高レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 1 分以内に作動しないことを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)
(7) 検査受検担当者は、916 盤操作表示器の高レンジモニタ指示値を「線量率 高高」警報設定値の 120%の値となるよう、試験装置から電氣的模擬信号を入力するよう指示する。	✓	
(8) 検査受検担当者は、916B 盤の操作表示器に「線量率 高高」(高レンジモニタ) の表示および 2-965-1 盤の「野外 (高レンジ) 放射線 高」の警報ランプ点灯、警報吹鳴が 1 分以内に作動することを確認し、別紙-6-3 に記録する。	✓	別紙-6-3 データ採取等の記録 (設定値確認検査)

## 指示値読み取り記録シート (MP-5, 高レンジモニタ)

確認年月日 2023年9月11日

検査受検担当者

協力会社助勢員

## 1. デジタル式

		指示値 (読み取り)			
		$\times 10\text{nGy/h}$	$\times 10^3\text{nGy/h}$	$\times 10^2\text{nGy/h}$	$\times 10^2\text{nGy/h}$
		バックグラウンド	検出器中心から基準 $\gamma$ 線源までの距離		
500mm	1,000mm		1,500mm		
読み取り回数	1	7.08	2.80	7.64	3.71
	2	7.07	2.80	7.59	3.71
	3	7.06	2.85	7.52	3.71
	4	7.05	2.83	7.56	3.70
	5	7.05	2.84	7.46	3.73
	6	6.90	2.77	7.50	3.76
	7	6.91	2.78	7.61	3.74
	8	6.93	2.77	7.70	3.71
	9	6.79	2.80	7.62	3.75
	10	6.82	2.80	7.60	3.72
合計		69.66	28.04	75.80	37.24
平均値*		6.97	2.81	7.58	3.73

## 2. アナログ式 対数

		指示値 (読み取り)			
		$\times 10\text{nGy/h}$	$\times 10^3\text{nGy/h}$	$\times 10^2\text{nGy/h}$	$\times 10^2\text{nGy/h}$
		バックグラウンド	検出器中心から基準 $\gamma$ 線源までの距離		
500mm	1,000mm		1,500mm		
読取値		7.0	2.8	7.5	3.7

\* 平均値の端数処理方法

- バックグラウンド指示値の平均値は四捨五入処理を行う。
- 線源照射中の指示値の平均値は、バックグラウンド指示値の平均値を差し引いた正味線量率が許容範囲の中心に対して安全側 (厳しい側) となるように切り上げ、または、切り捨て処理を行う。

成績書(頁)

69



## 線源校正用治具確認チェックシート

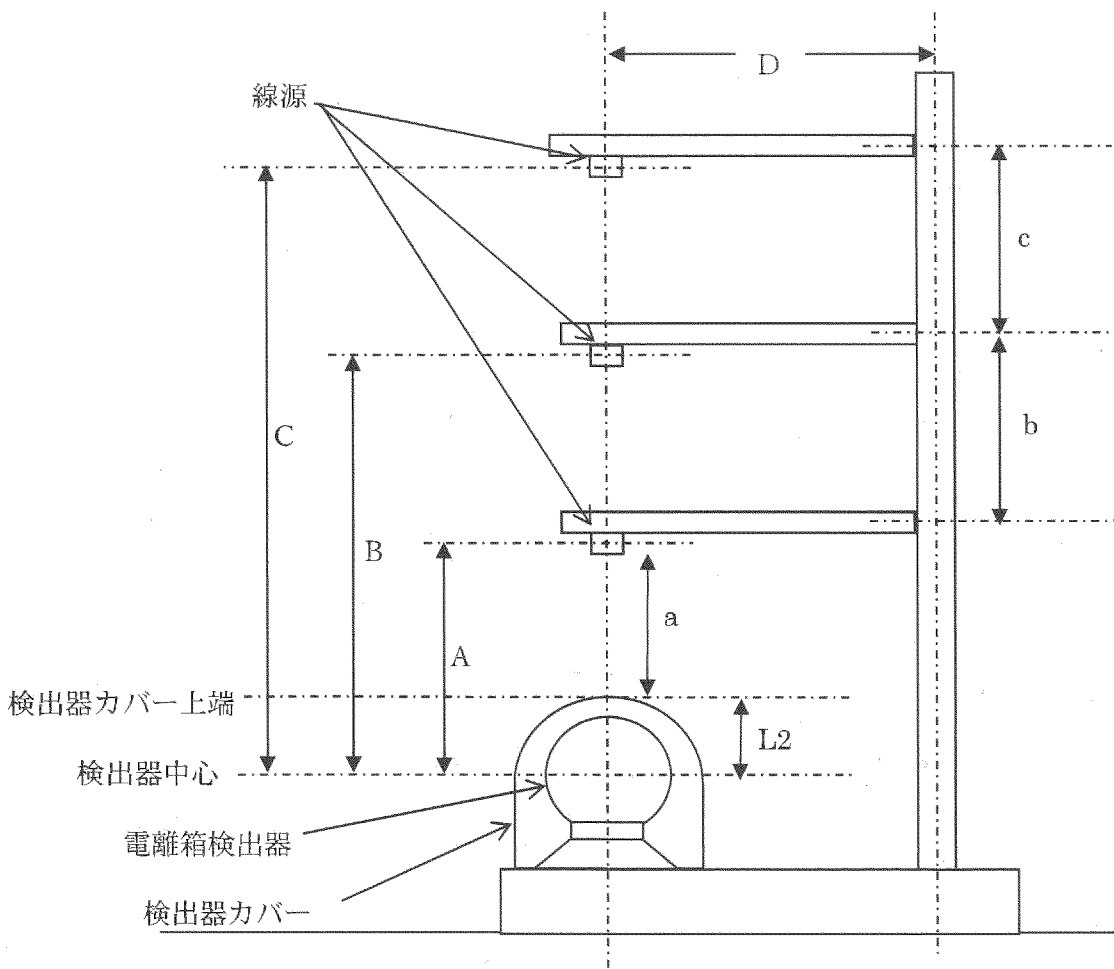
(MP-5 , 高レンジモニタ)

確認年月日 2023年9月11日  
 検査受検担当者  

測定項目	設定値 (mm)	判定基準 (mm)	測定値 (mm) [L2=219 mm] ※	結果	備考
検出器中心から線源までの距離	A	500	500±2 <small>a+L2=500 (a=281)</small>	✓	
	B	1,000	1000±2 <small>A+b=1000 (b=500)</small>	✓	
	C	1,500	1500±2 <small>A+b+c=1500 (b=500, c=500)</small>	✓	
検出器中心と線源校正治具との距離	D	381	381±2.5  381	✓	

※

モニタリングポスト	MP-1	MP-3	MP-5
L2 (mm)	224	222	219



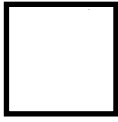
# 検査工程

(検査日：2023年 9 月 28 日)

主要工程	【工事工程】
	▽※
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">高レンジ検出器他取替 (MP-1,3,5)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">使用前 事業者検査 (施設)</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>当該検査実施可能期間</p> </div>
準備	<div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> <div style="width: 20px; height: 10px; border: 1px solid black; background-color: white;"></div> <div style="width: 20px; height: 10px; background-color: black;"></div> </div>
検査	<div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> <div style="width: 20px; height: 10px; border: 1px solid black; background-color: white;"></div> <div style="width: 20px; height: 10px; background-color: black;"></div> </div>

※全ての工事が完了した時

計画  
 実績

検査実施 責任者

2023.8.6

検査要領書：添付資料－9

検査成績書：添付－6

## 検査用計器一覧表（兼 校正確認シート）

### 1. 検査条件の確認に使用する計器

#### (1) 仮設検査用計器

測定項目		測定器	計器番号	測定範囲	精度	校正確認 結果 <small>(有効期限含む)</small>	備考
特性検査	距離	巻尺	LSAH023	0～5.5m	1.0m±0.5mm 3.0m±0.7mm 5.5m±1.0mm	良	
特性検査	周波数	パルスジェネレータ	LPUH141	$10^{-1} \sim 10^5 \text{Hz}$	±0.1 (% of setting)	良	

成績書(頁)	92/E
--------	------

原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領に係る検査項目比較表

(A) 原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領の記録様式	(B) 島根原子力発電所 使用前事業者検査成績書の抜粋	判定基準の比較																																																				
<p style="text-align: center;"><b>線源較正確認検査記録</b></p> <p style="text-align: right;">検査年月日 2023年 9月 8日 検査担当職員 _____ 検査担当職員 _____ 検査立会者 _____</p> <p>1. モニタリングポスト MP-1 (1) 電離箱検出器</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>線源と検出器の距離 (m) 空気吸収 (基準) 線量率</th> <th>指示線量率 (デジタル指示計) (nGy/h)</th> <th>バック グラウンド (検査前指示値) (nGy/h)</th> <th>正味線量率 (nGy/h)</th> <th>正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率等で除し た値</th> <th>結果</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.5 (<math>2.64 \times 10^3 \text{ nGy/h}</math>)</td> <td><math>2.82 \times 10^3</math></td> <td><math>5.84 \times 10</math></td> <td><math>2.77 \times 10^3</math></td> <td>1.05</td> <td>良</td> <td rowspan="3">許容範囲 0.85~1.22</td> </tr> <tr> <td>1.0 (<math>6.60 \times 10^3 \text{ nGy/h}</math>)</td> <td><math>7.36 \times 10^2</math></td> <td><math>5.84 \times 10</math></td> <td><math>6.78 \times 10^2</math></td> <td>1.03</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>1.5 (<math>2.93 \times 10^3 \text{ nGy/h}</math>)</td> <td><math>3.62 \times 10^2</math></td> <td><math>5.84 \times 10</math></td> <td><math>3.04 \times 10^2</math></td> <td>1.04</td> <td>良</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと (良・否)</p> <p style="text-align: center;">4</p>	線源と検出器の距離 (m) 空気吸収 (基準) 線量率	指示線量率 (デジタル指示計) (nGy/h)	バック グラウンド (検査前指示値) (nGy/h)	正味線量率 (nGy/h)	正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率等で除し た値	結果	備考	0.5 ( $2.64 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$2.82 \times 10^3$	$5.84 \times 10$	$2.77 \times 10^3$	1.05	良	許容範囲 0.85~1.22	1.0 ( $6.60 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$7.36 \times 10^2$	$5.84 \times 10$	$6.78 \times 10^2$	1.03	良	1.5 ( $2.93 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$3.62 \times 10^2$	$5.84 \times 10$	$3.04 \times 10^2$	1.04	良	<p style="text-align: center;"><b>データ採取等の記録 (線源校正検査)</b></p> <p style="text-align: right;">検査年月日 2023年 9月 8日 検査受検担当者 _____</p> <p>1. モニタリングポスト MP-1 (1) 電離箱</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>線源と検出器の距離 (m) 空気吸収 (基準) 線量率</th> <th>指示線量率 (操作表示器) (nGy/h)</th> <th>バックグラウンド (操作表示器) (nGy/h)</th> <th>正味線量率 (nGy/h)</th> <th>正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率等で 除した値</th> <th>結果</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.5 (<math>2.64 \times 10^3 \text{ nGy/h}</math>)</td> <td><math>2.82 \times 10^3</math></td> <td><math>5.84 \times 10</math></td> <td><math>2.77 \times 10^3</math></td> <td>1.05</td> <td>✓</td> <td rowspan="3">許容範囲 0.85~1.22</td> </tr> <tr> <td>1.0 (<math>6.60 \times 10^3 \text{ nGy/h}</math>)</td> <td><math>7.36 \times 10^2</math></td> <td><math>5.84 \times 10</math></td> <td><math>6.78 \times 10^2</math></td> <td>1.03</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>1.5 (<math>2.93 \times 10^3 \text{ nGy/h}</math>)</td> <td><math>3.62 \times 10^2</math></td> <td><math>5.84 \times 10</math></td> <td><math>3.04 \times 10^2</math></td> <td>1.04</td> <td>✓</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">成績書(頁) _____</p> <p style="text-align: center;">7</p>	線源と検出器の距離 (m) 空気吸収 (基準) 線量率	指示線量率 (操作表示器) (nGy/h)	バックグラウンド (操作表示器) (nGy/h)	正味線量率 (nGy/h)	正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率等で 除した値	結果	備考	0.5 ( $2.64 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$2.82 \times 10^3$	$5.84 \times 10$	$2.77 \times 10^3$	1.05	✓	許容範囲 0.85~1.22	1.0 ( $6.60 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$7.36 \times 10^2$	$5.84 \times 10$	$6.78 \times 10^2$	1.03	✓	1.5 ( $2.93 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$3.62 \times 10^2$	$5.84 \times 10$	$3.04 \times 10^2$	1.04	✓	<p>判定基準の比較</p> <p>A (原災法検査) 正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率又は空気カーマ率で除した値が、0.85~1.22の範囲内であること。</p> <p>B (使用前事業者検査) 正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率又は空気カーマ率で除した値が、許容範囲内 (0.85~1.22) であること。</p> <p>&gt;使用前事業者検査に適合することにより、原災法検査における許容範囲内であることが確認可能である。</p>
線源と検出器の距離 (m) 空気吸収 (基準) 線量率	指示線量率 (デジタル指示計) (nGy/h)	バック グラウンド (検査前指示値) (nGy/h)	正味線量率 (nGy/h)	正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率等で除し た値	結果	備考																																																
0.5 ( $2.64 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$2.82 \times 10^3$	$5.84 \times 10$	$2.77 \times 10^3$	1.05	良	許容範囲 0.85~1.22																																																
1.0 ( $6.60 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$7.36 \times 10^2$	$5.84 \times 10$	$6.78 \times 10^2$	1.03	良																																																	
1.5 ( $2.93 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$3.62 \times 10^2$	$5.84 \times 10$	$3.04 \times 10^2$	1.04	良																																																	
線源と検出器の距離 (m) 空気吸収 (基準) 線量率	指示線量率 (操作表示器) (nGy/h)	バックグラウンド (操作表示器) (nGy/h)	正味線量率 (nGy/h)	正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率等で 除した値	結果	備考																																																
0.5 ( $2.64 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$2.82 \times 10^3$	$5.84 \times 10$	$2.77 \times 10^3$	1.05	✓	許容範囲 0.85~1.22																																																
1.0 ( $6.60 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$7.36 \times 10^2$	$5.84 \times 10$	$6.78 \times 10^2$	1.03	✓																																																	
1.5 ( $2.93 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$3.62 \times 10^2$	$5.84 \times 10$	$3.04 \times 10^2$	1.04	✓																																																	

原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領に係る検査項目比較表

(A) 原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領の記録様式	(B) 島根原子力発電所 使用前事業者検査成績書の抜粋	判定基準の比較																																																				
<p style="text-align: center;"><b>線源較正確認検査記録</b></p> <p style="text-align: right;">検査年月日 2023年 9月 7日 検査担当職員 _____ 検査担当職員 _____ 検査立会者 _____</p> <p>2. モニタリングポスト MP-3 (1) 電離箱検出器</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>線源と検出器の距離 (m) 空気吸収 (基準) 線量率</th> <th>指示線量率 (デジタル指示計) (nGy/h)</th> <th>バック グラウンド (検査前指示値) (nGy/h)</th> <th>正味線量率 (nGy/h)</th> <th>正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率等で除し た値</th> <th>結果</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.5 (<math>2.64 \times 10^3 \text{ nGy/h}</math>)</td> <td><math>2.76 \times 10^3</math></td> <td><math>7.10 \times 10</math></td> <td><math>2.69 \times 10^3</math></td> <td>1.02</td> <td>良</td> <td rowspan="3">許容範囲 0.85~1.22</td> </tr> <tr> <td>1.0 (<math>6.60 \times 10^2 \text{ nGy/h}</math>)</td> <td><math>7.48 \times 10^2</math></td> <td><math>7.10 \times 10</math></td> <td><math>6.77 \times 10^2</math></td> <td>1.03</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>1.5 (<math>2.93 \times 10^3 \text{ nGy/h}</math>)</td> <td><math>3.73 \times 10^2</math></td> <td><math>7.10 \times 10</math></td> <td><math>3.02 \times 10^2</math></td> <td>1.03</td> <td>良</td> </tr> </tbody> </table> <p>検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと (良・否)</p>	線源と検出器の距離 (m) 空気吸収 (基準) 線量率	指示線量率 (デジタル指示計) (nGy/h)	バック グラウンド (検査前指示値) (nGy/h)	正味線量率 (nGy/h)	正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率等で除し た値	結果	備考	0.5 ( $2.64 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$2.76 \times 10^3$	$7.10 \times 10$	$2.69 \times 10^3$	1.02	良	許容範囲 0.85~1.22	1.0 ( $6.60 \times 10^2 \text{ nGy/h}$ )	$7.48 \times 10^2$	$7.10 \times 10$	$6.77 \times 10^2$	1.03	良	1.5 ( $2.93 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$3.73 \times 10^2$	$7.10 \times 10$	$3.02 \times 10^2$	1.03	良	<p style="text-align: center;"><b>データ採取等の記録 (線源校正検査)</b></p> <p style="text-align: right;">検査年月日 2023年 9月 7日 検査受検担当者 _____</p> <p>2. モニタリングポスト MP-3 (1) 電離箱</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>線源と検出器の距離 (m) (空気吸収(基準)線量率)</th> <th>指示線量率 (操作表示器) (nGy/h)</th> <th>バックグラウンド (操作表示器) (nGy/h)</th> <th>正味線量率 (nGy/h)</th> <th>正味線量率を空気吸 収 (基準) 線量率等 で除した値</th> <th>結果</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.5 (<math>2.64 \times 10^3 \text{ nGy/h}</math>)</td> <td><math>2.76 \times 10^3</math></td> <td><math>7.10 \times 10</math></td> <td><math>2.69 \times 10^3</math></td> <td>1.02</td> <td>✓</td> <td rowspan="3">許容範囲 0.85~1.22</td> </tr> <tr> <td>1.0 (<math>6.60 \times 10^2 \text{ nGy/h}</math>)</td> <td><math>7.48 \times 10^2</math></td> <td><math>7.10 \times 10</math></td> <td><math>6.77 \times 10^2</math></td> <td>1.03</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>1.5 (<math>2.93 \times 10^3 \text{ nGy/h}</math>)</td> <td><math>3.73 \times 10^2</math></td> <td><math>7.10 \times 10</math></td> <td><math>3.02 \times 10^2</math></td> <td>1.03</td> <td>✓</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">成績書(頁) _____</p>	線源と検出器の距離 (m) (空気吸収(基準)線量率)	指示線量率 (操作表示器) (nGy/h)	バックグラウンド (操作表示器) (nGy/h)	正味線量率 (nGy/h)	正味線量率を空気吸 収 (基準) 線量率等 で除した値	結果	備考	0.5 ( $2.64 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$2.76 \times 10^3$	$7.10 \times 10$	$2.69 \times 10^3$	1.02	✓	許容範囲 0.85~1.22	1.0 ( $6.60 \times 10^2 \text{ nGy/h}$ )	$7.48 \times 10^2$	$7.10 \times 10$	$6.77 \times 10^2$	1.03	✓	1.5 ( $2.93 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$3.73 \times 10^2$	$7.10 \times 10$	$3.02 \times 10^2$	1.03	✓	<p>判定基準の比較</p> <p>A (原災法検査) 正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率又は空気カーマ率で除した値が、0.85~1.22の範囲内であること。</p> <p>B (使用前事業者検査) 正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率又は空気カーマ率で除した値が、許容範囲内 (0.85~1.22) であること。</p> <p>&gt;使用前事業者検査に適合することにより、原災法検査における許容範囲内であることが確認可能である。</p>
線源と検出器の距離 (m) 空気吸収 (基準) 線量率	指示線量率 (デジタル指示計) (nGy/h)	バック グラウンド (検査前指示値) (nGy/h)	正味線量率 (nGy/h)	正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率等で除し た値	結果	備考																																																
0.5 ( $2.64 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$2.76 \times 10^3$	$7.10 \times 10$	$2.69 \times 10^3$	1.02	良	許容範囲 0.85~1.22																																																
1.0 ( $6.60 \times 10^2 \text{ nGy/h}$ )	$7.48 \times 10^2$	$7.10 \times 10$	$6.77 \times 10^2$	1.03	良																																																	
1.5 ( $2.93 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$3.73 \times 10^2$	$7.10 \times 10$	$3.02 \times 10^2$	1.03	良																																																	
線源と検出器の距離 (m) (空気吸収(基準)線量率)	指示線量率 (操作表示器) (nGy/h)	バックグラウンド (操作表示器) (nGy/h)	正味線量率 (nGy/h)	正味線量率を空気吸 収 (基準) 線量率等 で除した値	結果	備考																																																
0.5 ( $2.64 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$2.76 \times 10^3$	$7.10 \times 10$	$2.69 \times 10^3$	1.02	✓	許容範囲 0.85~1.22																																																
1.0 ( $6.60 \times 10^2 \text{ nGy/h}$ )	$7.48 \times 10^2$	$7.10 \times 10$	$6.77 \times 10^2$	1.03	✓																																																	
1.5 ( $2.93 \times 10^3 \text{ nGy/h}$ )	$3.73 \times 10^2$	$7.10 \times 10$	$3.02 \times 10^2$	1.03	✓																																																	

原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領に係る検査項目比較表

(A) 原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領の記録様式	(B) 島根原子力発電所 使用前事業者検査成績書の抜粋	判定基準の比較																																																				
<p style="text-align: center;">線源較正確認検査記録</p> <p style="text-align: right;">検査年月日 2023年 9月11日                      検査担当職員 _____                      検査担当職員 _____                      検査立会者 _____</p> <p>3. モニタリングポスト MP-5                      (1) 電離箱検出器</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>線源と検出器の距離 (m) 空気吸収 (基準) 線量率</th> <th>指示線量率 (デジタル指示計) (nGy/h)</th> <th>バック グラウンド (検査前指示値) (nGy/h)</th> <th>正味線量率 (nGy/h)</th> <th>正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率等で除した値</th> <th>結果</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.5 (2.64×10<sup>3</sup>nGy/h)</td> <td>2.81×10<sup>3</sup></td> <td>6.97×10</td> <td>2.74×10<sup>3</sup></td> <td>1.04</td> <td>良</td> <td rowspan="3">許容範囲 0.85~1.22</td> </tr> <tr> <td>1.0 (6.60×10<sup>2</sup>nGy/h)</td> <td>7.58×10<sup>2</sup></td> <td>6.97×10</td> <td>6.89×10<sup>2</sup></td> <td>1.05</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>1.5 (2.93×10<sup>3</sup>nGy/h)</td> <td>3.73×10<sup>2</sup></td> <td>6.97×10</td> <td>3.04×10<sup>2</sup></td> <td>1.04</td> <td>良</td> </tr> </tbody> </table> <p>検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと ( 良 ) ・ 否 )</p>	線源と検出器の距離 (m) 空気吸収 (基準) 線量率	指示線量率 (デジタル指示計) (nGy/h)	バック グラウンド (検査前指示値) (nGy/h)	正味線量率 (nGy/h)	正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率等で除した値	結果	備考	0.5 (2.64×10 <sup>3</sup> nGy/h)	2.81×10 <sup>3</sup>	6.97×10	2.74×10 <sup>3</sup>	1.04	良	許容範囲 0.85~1.22	1.0 (6.60×10 <sup>2</sup> nGy/h)	7.58×10 <sup>2</sup>	6.97×10	6.89×10 <sup>2</sup>	1.05	良	1.5 (2.93×10 <sup>3</sup> nGy/h)	3.73×10 <sup>2</sup>	6.97×10	3.04×10 <sup>2</sup>	1.04	良	<p style="text-align: center;">データ採取等の記録 (線源校正検査)</p> <p style="text-align: right;">検査年月日 2023年 9月11日                      検査受検担当者 _____</p> <p>3. モニタリングポスト MP-5                      (1) 電離箱</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>線源と検出器の距離 (m) (空気吸収 (基準) 線量率)</th> <th>指示線量率 (操作表示器) (nGy/h)</th> <th>バックグラウンド (操作表示器) (nGy/h)</th> <th>正味線量率 (nGy/h)</th> <th>正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率等で除した値</th> <th>結果</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.5 (2.64×10<sup>3</sup>nGy/h)</td> <td>2.81×10<sup>3</sup></td> <td>6.97×10</td> <td>2.74×10<sup>3</sup></td> <td>1.04</td> <td>✓</td> <td rowspan="3">許容範囲 0.85~1.22</td> </tr> <tr> <td>1.0 (6.60×10<sup>2</sup>nGy/h)</td> <td>7.58×10<sup>2</sup></td> <td>6.97×10</td> <td>6.89×10<sup>2</sup></td> <td>1.05</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>1.5 (2.93×10<sup>3</sup>nGy/h)</td> <td>3.73×10<sup>2</sup></td> <td>6.97×10</td> <td>3.04×10<sup>2</sup></td> <td>1.04</td> <td>✓</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">成績書(頁) _____</p>	線源と検出器の距離 (m) (空気吸収 (基準) 線量率)	指示線量率 (操作表示器) (nGy/h)	バックグラウンド (操作表示器) (nGy/h)	正味線量率 (nGy/h)	正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率等で除した値	結果	備考	0.5 (2.64×10 <sup>3</sup> nGy/h)	2.81×10 <sup>3</sup>	6.97×10	2.74×10 <sup>3</sup>	1.04	✓	許容範囲 0.85~1.22	1.0 (6.60×10 <sup>2</sup> nGy/h)	7.58×10 <sup>2</sup>	6.97×10	6.89×10 <sup>2</sup>	1.05	✓	1.5 (2.93×10 <sup>3</sup> nGy/h)	3.73×10 <sup>2</sup>	6.97×10	3.04×10 <sup>2</sup>	1.04	✓	<p>A (原災法検査)                      正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率又は空気カーマ率で除した値が、0.85~1.22の範囲内であること。</p> <p>B (使用前事業者検査)                      正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率又は空気カーマ率で除した値が、許容範囲内 (0.85~1.22) であること。</p> <p>&gt;使用前事業者検査に適合することにより、原災法検査における許容範囲内であることが確認可能である。</p>
線源と検出器の距離 (m) 空気吸収 (基準) 線量率	指示線量率 (デジタル指示計) (nGy/h)	バック グラウンド (検査前指示値) (nGy/h)	正味線量率 (nGy/h)	正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率等で除した値	結果	備考																																																
0.5 (2.64×10 <sup>3</sup> nGy/h)	2.81×10 <sup>3</sup>	6.97×10	2.74×10 <sup>3</sup>	1.04	良	許容範囲 0.85~1.22																																																
1.0 (6.60×10 <sup>2</sup> nGy/h)	7.58×10 <sup>2</sup>	6.97×10	6.89×10 <sup>2</sup>	1.05	良																																																	
1.5 (2.93×10 <sup>3</sup> nGy/h)	3.73×10 <sup>2</sup>	6.97×10	3.04×10 <sup>2</sup>	1.04	良																																																	
線源と検出器の距離 (m) (空気吸収 (基準) 線量率)	指示線量率 (操作表示器) (nGy/h)	バックグラウンド (操作表示器) (nGy/h)	正味線量率 (nGy/h)	正味線量率を空気吸収 (基準) 線量率等で除した値	結果	備考																																																
0.5 (2.64×10 <sup>3</sup> nGy/h)	2.81×10 <sup>3</sup>	6.97×10	2.74×10 <sup>3</sup>	1.04	✓	許容範囲 0.85~1.22																																																
1.0 (6.60×10 <sup>2</sup> nGy/h)	7.58×10 <sup>2</sup>	6.97×10	6.89×10 <sup>2</sup>	1.05	✓																																																	
1.5 (2.93×10 <sup>3</sup> nGy/h)	3.73×10 <sup>2</sup>	6.97×10	3.04×10 <sup>2</sup>	1.04	✓																																																	



原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領に係る検査項目比較表

(A) 原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領の記録様式	(B) 島根原子力発電所 使用前事業者検査成績書の抜粋	判定基準の比較																																																																																													
<p style="text-align: center;"><b>警報レベルの誤差確認検査記録</b></p> <p style="text-align: right;">検査年月日 2023年 9月 8日 検査担当職員 _____ 検査担当職員 _____ 検査立会者 _____</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">モニタ名称</th> <th rowspan="2">設定値 (nGy/h)</th> <th rowspan="2">照射等による数値 (nGy/h) &lt;設定値に対する割合&gt;</th> <th colspan="3">確認事項</th> <th rowspan="2">結果</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>正常に作動 (5分以内)</th> <th>ランプ 点灯</th> <th>警報 吹鳴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">1. モニタリングポスト MP-1 (1) 低レンジモニタ</td> <td rowspan="2">2.20×10<sup>2</sup></td> <td>2.09×10<sup>2</sup> &lt;95%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>無なら良</td> </tr> <tr> <td>2.31×10<sup>2</sup> &lt;105%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>有なら良</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.20×10<sup>3</sup></td> <td>2.09×10<sup>3</sup> &lt;95%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>無なら良</td> </tr> <tr> <td>2.31×10<sup>3</sup> &lt;105%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>有なら良</td> </tr> </tbody> </table> <p>検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと (良・否) ※ 低レンジモニタは検出器製造時の旧JIS規格 (JIS Z 4325-2008) を適用。</p>	モニタ名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 (nGy/h) <設定値に対する割合>	確認事項			結果	備考	正常に作動 (5分以内)	ランプ 点灯	警報 吹鳴	1. モニタリングポスト MP-1 (1) 低レンジモニタ	2.20×10 <sup>2</sup>	2.09×10 <sup>2</sup> <95%>	有・無	有・無	有・無	良	無なら良	2.31×10 <sup>2</sup> <105%>	有・無	有・無	有・無	良	有なら良	2.20×10 <sup>3</sup>	2.09×10 <sup>3</sup> <95%>	有・無	有・無	有・無	良	無なら良	2.31×10 <sup>3</sup> <105%>	有・無	有・無	有・無	良	有なら良	<p style="text-align: center;"><b>データ採取等の記録 (設定値確認検査)</b></p> <p style="text-align: right;">検査年月日 2023年 9月 8日 検査受検担当者 _____</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">モニタ名称</th> <th rowspan="3">線量率表示 (nGy/h)</th> <th rowspan="3">基準に対する 割合 (nGy/h)</th> <th rowspan="3">判定時間</th> <th colspan="3">確認事項</th> <th rowspan="3">結果</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">野外放射線 モニタ盤</th> <th colspan="2">警報</th> </tr> <tr> <th>線量率高</th> <th>共通盤</th> <th>表示 点灯</th> <th>警報 吹鳴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">1. モニタリングポスト MP-1 (1) 低レンジモニタ</td> <td rowspan="2">2.09×10<sup>2</sup> (2.09×10<sup>2</sup>)</td> <td>95% (95%)</td> <td>5分継続</td> <td>線量率高</td> <td>野外 (低レンジ) 放射線 高</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>無なら良</td> </tr> <tr> <td>105% (105%)</td> <td>5分以内</td> <td>線量率高</td> <td>野外 (低レンジ) 放射線 高</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>有なら良</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.09×10<sup>3</sup> (2.09×10<sup>3</sup>)</td> <td>95% (95%)</td> <td>5分継続</td> <td>線量率高高</td> <td>野外 (低レンジ) 放射線 高</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>無なら良</td> </tr> <tr> <td>105% (105%)</td> <td>5分以内</td> <td>線量率高高</td> <td>野外 (低レンジ) 放射線 高</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>有なら良</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">成績書(頁) _____</p>	モニタ名称	線量率表示 (nGy/h)	基準に対する 割合 (nGy/h)	判定時間	確認事項			結果	備考	野外放射線 モニタ盤	警報		線量率高	共通盤	表示 点灯	警報 吹鳴	1. モニタリングポスト MP-1 (1) 低レンジモニタ	2.09×10 <sup>2</sup> (2.09×10 <sup>2</sup> )	95% (95%)	5分継続	線量率高	野外 (低レンジ) 放射線 高	有・無	有・無	有・無	良	無なら良	105% (105%)	5分以内	線量率高	野外 (低レンジ) 放射線 高	有・無	有・無	有・無	良	有なら良	2.09×10 <sup>3</sup> (2.09×10 <sup>3</sup> )	95% (95%)	5分継続	線量率高高	野外 (低レンジ) 放射線 高	有・無	有・無	有・無	良	無なら良	105% (105%)	5分以内	線量率高高	野外 (低レンジ) 放射線 高	有・無	有・無	有・無	良	有なら良	<p style="text-align: center;">判定基準の比較</p> <p>A (原災法検査) 警報音の吹鳴、表示灯の点灯等が正常に作動し、以下を満たすこと。 (i) 中央制御室等の警報装置が設定値の80%の値で作動しないこと。 (ii) 中央制御室等の警報装置が設定値の120%の値で作動すること。</p> <p>B (使用前事業者検査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>低レンジモニタ 警報設定値の95%の入力に対して5分の間、作動しないこと。 警報設定値の105%の入力に対して5分以内に作動すること。</li> <li>高レンジモニタ 警報設定値の80%の値で1分の間、作動しないこと。 警報設定値の120%の値で1分以内に作動すること。</li> </ul> <p>&gt;原災法検査の判定基準は、JIS Z 4325-2019 に準拠した判定基準となっており、同JISを適用している高レンジモニタについては、同様の判定基準となっている。 一方で、低レンジ検出器はJIS Z 4325-2008 に準拠した判定基準となっているが、JIS Z 4325 に準拠した判定基準という点は同様であり、使用前事業者検査に適合することにより、原災法検査における許容範囲内であることが確認可能である。</p>
モニタ名称				設定値 (nGy/h)	照射等による数値 (nGy/h) <設定値に対する割合>	確認事項			結果	備考																																																																																					
	正常に作動 (5分以内)	ランプ 点灯	警報 吹鳴																																																																																												
1. モニタリングポスト MP-1 (1) 低レンジモニタ	2.20×10 <sup>2</sup>	2.09×10 <sup>2</sup> <95%>	有・無	有・無	有・無	良	無なら良																																																																																								
		2.31×10 <sup>2</sup> <105%>	有・無	有・無	有・無	良	有なら良																																																																																								
	2.20×10 <sup>3</sup>	2.09×10 <sup>3</sup> <95%>	有・無	有・無	有・無	良	無なら良																																																																																								
		2.31×10 <sup>3</sup> <105%>	有・無	有・無	有・無	良	有なら良																																																																																								
モニタ名称	線量率表示 (nGy/h)	基準に対する 割合 (nGy/h)	判定時間	確認事項			結果	備考																																																																																							
				野外放射線 モニタ盤	警報																																																																																										
					線量率高	共通盤			表示 点灯	警報 吹鳴																																																																																					
1. モニタリングポスト MP-1 (1) 低レンジモニタ	2.09×10 <sup>2</sup> (2.09×10 <sup>2</sup> )	95% (95%)	5分継続	線量率高	野外 (低レンジ) 放射線 高	有・無	有・無	有・無	良	無なら良																																																																																					
		105% (105%)	5分以内	線量率高	野外 (低レンジ) 放射線 高	有・無	有・無	有・無	良	有なら良																																																																																					
	2.09×10 <sup>3</sup> (2.09×10 <sup>3</sup> )	95% (95%)	5分継続	線量率高高	野外 (低レンジ) 放射線 高	有・無	有・無	有・無	良	無なら良																																																																																					
		105% (105%)	5分以内	線量率高高	野外 (低レンジ) 放射線 高	有・無	有・無	有・無	良	有なら良																																																																																					





原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領に係る検査項目比較表

(A) 原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領の記録様式	(B) 島根原子力発電所 使用前事業者検査成績書の抜粋	判定基準の比較																																																																																	
<p style="text-align: center;"><b>警報レベルの誤差確認検査記録</b></p> <p style="text-align: right;">検査年月日 2023年 9月 7日                      検査担当職員 _____                      検査担当職員 _____                      検査立会者 _____</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">モニタ名称</th> <th rowspan="2">設定値 (nGy/h)</th> <th rowspan="2">照射等による数値 (nGy/h) &lt;設定値に対する割合&gt;</th> <th colspan="3">確認事項</th> <th rowspan="2">結果</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>正常に作動 (5分以内)</th> <th>ランプ 点灯</th> <th>警報 吹鳴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2. モニタリングポスト MP-3 (1) 低レンジモニタ</td> <td rowspan="2">2.20 × 10<sup>2</sup></td> <td>2.09 × 10<sup>2</sup> &lt; 95% &gt;</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>無なら良</td> </tr> <tr> <td>2.31 × 10<sup>2</sup> &lt; 105% &gt;</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>有なら良</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.20 × 10<sup>3</sup></td> <td>2.09 × 10<sup>3</sup> &lt; 95% &gt;</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>無なら良</td> </tr> <tr> <td>2.31 × 10<sup>3</sup> &lt; 105% &gt;</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>有なら良</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと (良・否)                      ※ 低レンジモニタは検出器製造時の旧 JIS規格 (JIS Z 4325-2008) を適用。</p>	モニタ名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 (nGy/h) <設定値に対する割合>	確認事項			結果	備考	正常に作動 (5分以内)	ランプ 点灯	警報 吹鳴	2. モニタリングポスト MP-3 (1) 低レンジモニタ	2.20 × 10 <sup>2</sup>	2.09 × 10 <sup>2</sup> < 95% >	有・無	有・無	有・無	良	無なら良	2.31 × 10 <sup>2</sup> < 105% >	有・無	有・無	有・無	良	有なら良	2.20 × 10 <sup>3</sup>	2.09 × 10 <sup>3</sup> < 95% >	有・無	有・無	有・無	良	無なら良	2.31 × 10 <sup>3</sup> < 105% >	有・無	有・無	有・無	良	有なら良	<p style="text-align: center;">データ採取等の記録 (設定値確認検査)</p> <p style="text-align: right;">検査年月日 2023年 9月 7日                      検査受検担当者 _____</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">モニタ名称</th> <th rowspan="2">線量率表示 (nGy/h)</th> <th rowspan="2">基準に対する 割合 (nGy/h)</th> <th rowspan="2">判定時間</th> <th colspan="3">警報</th> <th rowspan="2">結果</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>野外放射線 モニタ器</th> <th>共通盤</th> <th>表示 点灯</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2. モニタリングポスト MP-3 (1) 低レンジモニタ</td> <td rowspan="2">2.09 × 10<sup>2</sup> (2.09 × 10<sup>2</sup>)</td> <td>95% (95%)</td> <td>5分継続</td> <td>線量率高</td> <td>野外(低レンジ) 放射線高</td> <td>有・無</td> <td>✓</td> <td>無なら良</td> </tr> <tr> <td>105% (105%)</td> <td>5分以内</td> <td>線量率高</td> <td>野外(低レンジ) 放射線高</td> <td>有・無</td> <td>✓</td> <td>有なら良</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.09 × 10<sup>3</sup> (2.09 × 10<sup>3</sup>)</td> <td>95% (95%)</td> <td>5分継続</td> <td>線量率高高</td> <td>野外(低レンジ) 放射線高</td> <td>有・無</td> <td>✓</td> <td>無なら良</td> </tr> <tr> <td>105% (105%)</td> <td>5分以内</td> <td>線量率高高</td> <td>野外(低レンジ) 放射線高</td> <td>有・無</td> <td>✓</td> <td>有なら良</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">成績書(頁) _____</p>	モニタ名称	線量率表示 (nGy/h)	基準に対する 割合 (nGy/h)	判定時間	警報			結果	備考	野外放射線 モニタ器	共通盤	表示 点灯	2. モニタリングポスト MP-3 (1) 低レンジモニタ	2.09 × 10 <sup>2</sup> (2.09 × 10 <sup>2</sup> )	95% (95%)	5分継続	線量率高	野外(低レンジ) 放射線高	有・無	✓	無なら良	105% (105%)	5分以内	線量率高	野外(低レンジ) 放射線高	有・無	✓	有なら良	2.09 × 10 <sup>3</sup> (2.09 × 10 <sup>3</sup> )	95% (95%)	5分継続	線量率高高	野外(低レンジ) 放射線高	有・無	✓	無なら良	105% (105%)	5分以内	線量率高高	野外(低レンジ) 放射線高	有・無	✓	有なら良	<p style="text-align: center;">判定基準の比較</p> <p>A (原災法検査)                      警報音の吹鳴、表示灯の点灯等が正常に作動し、以下を満たすこと。                      (i) 中央制御室等の警報装置が設定値の80%の値で作動しないこと。                      (ii) 中央制御室等の警報装置が設定値の120%の値で作動すること。</p> <p>B (使用前事業者検査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>低レンジモニタ                              警報設定値の95%の入力に対して5分の間、作動しないこと。                              警報設定値の105%の入力に対して5分以内に作動すること。</li> <li>高レンジモニタ                              警報設定値の80%の値で1分の間、作動しないこと。                              警報設定値の120%の値で1分以内に作動すること。</li> </ul> <p>&gt; 原災法検査の判定基準は、JIS Z 4325-2019 に準拠した判定基準となっており、同 JIS を適用している高レンジモニタについては、同様の判定基準となっている。</p> <p>一方で、低レンジ検出器は JIS Z 4325-2008 に準拠した判定基準となっているが、JIS Z 4325 に準拠した判定基準という点は同様であり、使用前事業者検査に適合することにより、原災法検査における許容範囲内であることが確認可能である。</p>
モニタ名称				設定値 (nGy/h)	照射等による数値 (nGy/h) <設定値に対する割合>	確認事項			結果	備考																																																																									
	正常に作動 (5分以内)	ランプ 点灯	警報 吹鳴																																																																																
2. モニタリングポスト MP-3 (1) 低レンジモニタ	2.20 × 10 <sup>2</sup>	2.09 × 10 <sup>2</sup> < 95% >	有・無	有・無	有・無	良	無なら良																																																																												
		2.31 × 10 <sup>2</sup> < 105% >	有・無	有・無	有・無	良	有なら良																																																																												
	2.20 × 10 <sup>3</sup>	2.09 × 10 <sup>3</sup> < 95% >	有・無	有・無	有・無	良	無なら良																																																																												
		2.31 × 10 <sup>3</sup> < 105% >	有・無	有・無	有・無	良	有なら良																																																																												
モニタ名称	線量率表示 (nGy/h)	基準に対する 割合 (nGy/h)	判定時間	警報			結果	備考																																																																											
				野外放射線 モニタ器	共通盤	表示 点灯																																																																													
2. モニタリングポスト MP-3 (1) 低レンジモニタ	2.09 × 10 <sup>2</sup> (2.09 × 10 <sup>2</sup> )	95% (95%)	5分継続	線量率高	野外(低レンジ) 放射線高	有・無	✓	無なら良																																																																											
		105% (105%)	5分以内	線量率高	野外(低レンジ) 放射線高	有・無	✓	有なら良																																																																											
	2.09 × 10 <sup>3</sup> (2.09 × 10 <sup>3</sup> )	95% (95%)	5分継続	線量率高高	野外(低レンジ) 放射線高	有・無	✓	無なら良																																																																											
		105% (105%)	5分以内	線量率高高	野外(低レンジ) 放射線高	有・無	✓	有なら良																																																																											

原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領に係る検査項目比較表

(A) 原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領の記録様式	(B) 島根原子力発電所 使用前事業者検査成績書の抜粋	判定基準の比較																																																																																					
<p style="text-align: center;"><b>警報レベルの誤差確認検査記録</b></p> <p style="text-align: right;">検査年月日 2023年 9月 7日                      検査担当職員 _____                      検査担当職員 _____                      検査立会者 _____</p> <p>2. モニタリングポスト MP-3 (2) 高レンジモニタ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">モニタ名称</th> <th rowspan="2">設定値 (nGy/h)</th> <th rowspan="2">照射等による数値 (nGy/h) &lt;設定値に対する割合&gt;</th> <th colspan="3">確認事項</th> <th rowspan="2">結果</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>正常に作動 (1分以内)</th> <th>ランプ 点灯</th> <th>警報 吹鳴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">モニタリングポスト (MP-3)</td> <td rowspan="2">1.00×10<sup>3</sup></td> <td>8.00×10<sup>2</sup> &lt;80%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>無なら良</td> </tr> <tr> <td>1.20×10<sup>3</sup> &lt;120%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>有なら良</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1.00×10<sup>4</sup></td> <td>8.00×10<sup>3</sup> &lt;80%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>無なら良</td> </tr> <tr> <td>1.20×10<sup>4</sup> &lt;120%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>有なら良</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと (良・否)</p>	モニタ名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 (nGy/h) <設定値に対する割合>	確認事項			結果	備考	正常に作動 (1分以内)	ランプ 点灯	警報 吹鳴	モニタリングポスト (MP-3)	1.00×10 <sup>3</sup>	8.00×10 <sup>2</sup> <80%>	有・無	有・無	有・無	良	無なら良	1.20×10 <sup>3</sup> <120%>	有・無	有・無	有・無	良	有なら良	1.00×10 <sup>4</sup>	8.00×10 <sup>3</sup> <80%>	有・無	有・無	有・無	良	無なら良	1.20×10 <sup>4</sup> <120%>	有・無	有・無	有・無	良	有なら良	<p style="text-align: center;"><b>データ採取等の記録 (設定値確認検査)</b></p> <p style="text-align: right;">検査年月日 2023年 9月 7日                      検査受検担当者 _____</p> <p>2. モニタリングポスト MP-3 (2) 高レンジモニタ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">モニタ 名称</th> <th rowspan="3">設定値 (nGy/h)</th> <th rowspan="3">照射等による数値 (nGy/h) &lt;設定値に対する 割合&gt;</th> <th colspan="4">確認事項</th> <th rowspan="3">結果</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">正常に作動 (1分以内)</th> <th colspan="2">警報</th> <th rowspan="2">表示 点灯</th> </tr> <tr> <th>野外放射線 モニタ盤</th> <th>共通盤</th> <th>警報 吹鳴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">モニタリングポスト (MP-3)</td> <td rowspan="2">1.00×10<sup>3</sup></td> <td>8.00×10<sup>2</sup> &lt;80%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>野外 (高レンジ) 放射線 高</td> <td>共通盤</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>無なら良</td> </tr> <tr> <td>1.20×10<sup>3</sup> &lt;120%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>野外 (高レンジ) 放射線 高</td> <td>共通盤</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有なら良</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1.00×10<sup>4</sup></td> <td>8.00×10<sup>3</sup> &lt;80%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>野外 (高レンジ) 放射線 高</td> <td>共通盤</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>無なら良</td> </tr> <tr> <td>1.20×10<sup>4</sup> &lt;120%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>野外 (高レンジ) 放射線 高</td> <td>共通盤</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有なら良</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">成績書(頁) _____</p>	モニタ 名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 (nGy/h) <設定値に対する 割合>	確認事項				結果	備考	正常に作動 (1分以内)	警報		表示 点灯	野外放射線 モニタ盤	共通盤	警報 吹鳴	モニタリングポスト (MP-3)	1.00×10 <sup>3</sup>	8.00×10 <sup>2</sup> <80%>	有・無	野外 (高レンジ) 放射線 高	共通盤	有・無	有・無	無なら良	1.20×10 <sup>3</sup> <120%>	有・無	野外 (高レンジ) 放射線 高	共通盤	有・無	有・無	有なら良	1.00×10 <sup>4</sup>	8.00×10 <sup>3</sup> <80%>	有・無	野外 (高レンジ) 放射線 高	共通盤	有・無	有・無	無なら良	1.20×10 <sup>4</sup> <120%>	有・無	野外 (高レンジ) 放射線 高	共通盤	有・無	有・無	有なら良	<p style="text-align: center;">判定基準の比較</p> <p>A (原災法検査)                      警報音の吹鳴、表示灯の点灯等が正常に作動し、以下を満たすこと。                      (i) 中央制御室等の警報装置が設定値の80%の値で作動しないこと。                      (ii) 中央制御室等の警報装置が設定値の120%の値で作動すること。</p> <p>B (使用前事業者検査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低レンジモニタ                          警報設定値の95%の入力に対して5分の間、作動しないこと。                          警報設定値の105%の入力に対して5分以内に作動すること。</li> <li>・高レンジモニタ                          警報設定値の80%の値で1分の間、作動しないこと。                          警報設定値の120%の値で1分以内に作動すること。</li> </ul> <p>&gt;原災法検査の判定基準は、JIS Z 4325-2019 に準拠した判定基準となっており、同 JIS を適用している高レンジモニタについては、同様の判定基準となっている。</p> <p>一方で、低レンジ検出器は JIS Z 4325-2008 に準拠した判定基準となっているが、JIS Z 4325 に準拠した判定基準という点は同様であり、使用前事業者検査に適合することにより、原災法検査における許容範囲内であることが確認可能である。</p>
モニタ名称				設定値 (nGy/h)	照射等による数値 (nGy/h) <設定値に対する割合>	確認事項			結果	備考																																																																													
	正常に作動 (1分以内)	ランプ 点灯	警報 吹鳴																																																																																				
モニタリングポスト (MP-3)	1.00×10 <sup>3</sup>	8.00×10 <sup>2</sup> <80%>	有・無	有・無	有・無	良	無なら良																																																																																
		1.20×10 <sup>3</sup> <120%>	有・無	有・無	有・無	良	有なら良																																																																																
	1.00×10 <sup>4</sup>	8.00×10 <sup>3</sup> <80%>	有・無	有・無	有・無	良	無なら良																																																																																
		1.20×10 <sup>4</sup> <120%>	有・無	有・無	有・無	良	有なら良																																																																																
モニタ 名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 (nGy/h) <設定値に対する 割合>	確認事項				結果	備考																																																																															
			正常に作動 (1分以内)	警報		表示 点灯																																																																																	
				野外放射線 モニタ盤	共通盤				警報 吹鳴																																																																														
モニタリングポスト (MP-3)	1.00×10 <sup>3</sup>	8.00×10 <sup>2</sup> <80%>	有・無	野外 (高レンジ) 放射線 高	共通盤	有・無	有・無	無なら良																																																																															
		1.20×10 <sup>3</sup> <120%>	有・無	野外 (高レンジ) 放射線 高	共通盤	有・無	有・無	有なら良																																																																															
	1.00×10 <sup>4</sup>	8.00×10 <sup>3</sup> <80%>	有・無	野外 (高レンジ) 放射線 高	共通盤	有・無	有・無	無なら良																																																																															
		1.20×10 <sup>4</sup> <120%>	有・無	野外 (高レンジ) 放射線 高	共通盤	有・無	有・無	有なら良																																																																															





原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領に係る検査項目比較表

(A) 原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領の記録様式	(B) 島根原子力発電所 使用前事業者検査成績書の抜粋	判定基準の比較																																																																																																
<p style="text-align: center;"><b>警報レベルの誤差確認検査記録</b></p> <p style="text-align: right;">検査年月日 2023年 9月11日                      検査担当職員 _____                      検査担当職員 _____                      検査立会者 _____</p> <p>3. モニタリングポスト MP-5 (2) 高レンジモニタ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">モニタ名称</th> <th rowspan="2">設定値 (nGy/h)</th> <th rowspan="2">照射等による数値 (nGy/h) &lt;設定値に対する割合&gt;</th> <th colspan="3">確認事項</th> <th rowspan="2">結果</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>正常に作動 (1分以内)</th> <th>ランプ 点灯</th> <th>警報 吹鳴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">モニタリングポスト (MP-5)</td> <td rowspan="2">1.00×10<sup>3</sup></td> <td>8.00×10<sup>2</sup> &lt;80%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>無なら良</td> </tr> <tr> <td>1.20×10<sup>3</sup> &lt;120%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>有なら良</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1.00×10<sup>4</sup></td> <td>8.00×10<sup>3</sup> &lt;80%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>無なら良</td> </tr> <tr> <td>1.20×10<sup>4</sup> &lt;120%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>有なら良</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと (良・否)</p>	モニタ名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 (nGy/h) <設定値に対する割合>	確認事項			結果	備考	正常に作動 (1分以内)	ランプ 点灯	警報 吹鳴	モニタリングポスト (MP-5)	1.00×10 <sup>3</sup>	8.00×10 <sup>2</sup> <80%>	有・無	有・無	有・無	良	無なら良	1.20×10 <sup>3</sup> <120%>	有・無	有・無	有・無	良	有なら良	1.00×10 <sup>4</sup>	8.00×10 <sup>3</sup> <80%>	有・無	有・無	有・無	良	無なら良	1.20×10 <sup>4</sup> <120%>	有・無	有・無	有・無	良	有なら良	<p style="text-align: center;"><b>データ採取等の記録 (設定値確認検査)</b></p> <p style="text-align: right;">検査年月日 2023年 9月11日                      検査受検担当者 _____</p> <p>3. モニタリングポスト MP-5 (2) 高レンジモニタ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">モニタ 名称</th> <th rowspan="3">設定値 (nGy/h)</th> <th rowspan="3">照射等による数値 (nGy/h) &lt;設定値に対する 割合&gt;</th> <th rowspan="3">正常に作動 (1分以内)</th> <th colspan="3">確認事項</th> <th rowspan="3">結果</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">野外放射線 モニタ盤</th> <th colspan="2">警報</th> </tr> <tr> <th>線量率高 野外(高レンジ) 放射線高</th> <th>共通盤</th> <th>表示 点灯</th> <th>警報 吹鳴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">モニタリングポスト (MP-5)</td> <td rowspan="2">1.00×10<sup>3</sup></td> <td>8.00×10<sup>2</sup> &lt;80%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>線量率高 野外(高レンジ) 放射線高</td> <td>野外(高レンジ) 放射線高</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>無なら良</td> </tr> <tr> <td>1.20×10<sup>3</sup> &lt;120%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>線量率高 野外(高レンジ) 放射線高</td> <td>野外(高レンジ) 放射線高</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>有なら良</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1.00×10<sup>4</sup></td> <td>8.00×10<sup>3</sup> &lt;80%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>線量率高 野外(高レンジ) 放射線高</td> <td>野外(高レンジ) 放射線高</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>無なら良</td> </tr> <tr> <td>1.20×10<sup>4</sup> &lt;120%&gt;</td> <td>有・無</td> <td>線量率高 野外(高レンジ) 放射線高</td> <td>野外(高レンジ) 放射線高</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>有・無</td> <td>良</td> <td>有なら良</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">成績書(頁) _____</p>	モニタ 名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 (nGy/h) <設定値に対する 割合>	正常に作動 (1分以内)	確認事項			結果	備考	野外放射線 モニタ盤	警報		線量率高 野外(高レンジ) 放射線高	共通盤	表示 点灯	警報 吹鳴	モニタリングポスト (MP-5)	1.00×10 <sup>3</sup>	8.00×10 <sup>2</sup> <80%>	有・無	線量率高 野外(高レンジ) 放射線高	野外(高レンジ) 放射線高	有・無	有・無	有・無	良	無なら良	1.20×10 <sup>3</sup> <120%>	有・無	線量率高 野外(高レンジ) 放射線高	野外(高レンジ) 放射線高	有・無	有・無	有・無	有・無	良	有なら良	1.00×10 <sup>4</sup>	8.00×10 <sup>3</sup> <80%>	有・無	線量率高 野外(高レンジ) 放射線高	野外(高レンジ) 放射線高	有・無	有・無	有・無	有・無	良	無なら良	1.20×10 <sup>4</sup> <120%>	有・無	線量率高 野外(高レンジ) 放射線高	野外(高レンジ) 放射線高	有・無	有・無	有・無	有・無	良	有なら良	<p style="text-align: center;">判定基準の比較</p> <p>A (原災法検査)                      記録された数値が照射等による数値                      に対し以下を満たすこと。                      イ. アナログ式対数計                      ±0.06Nデカード以内であるこ                      と。</p> <p>B (使用前事業者検査)                      記録計に記録された指示値が許容範                      囲内(±0.06Nデカード以内)                      であること。</p> <p>&gt;使用前事業者検査に適合すること                      により、原災法検査における許容                      範囲内であることが確認可能であ                      る。</p>
モニタ名称				設定値 (nGy/h)	照射等による数値 (nGy/h) <設定値に対する割合>	確認事項			結果	備考																																																																																								
	正常に作動 (1分以内)	ランプ 点灯	警報 吹鳴																																																																																															
モニタリングポスト (MP-5)	1.00×10 <sup>3</sup>	8.00×10 <sup>2</sup> <80%>	有・無	有・無	有・無	良	無なら良																																																																																											
		1.20×10 <sup>3</sup> <120%>	有・無	有・無	有・無	良	有なら良																																																																																											
	1.00×10 <sup>4</sup>	8.00×10 <sup>3</sup> <80%>	有・無	有・無	有・無	良	無なら良																																																																																											
		1.20×10 <sup>4</sup> <120%>	有・無	有・無	有・無	良	有なら良																																																																																											
モニタ 名称	設定値 (nGy/h)	照射等による数値 (nGy/h) <設定値に対する 割合>	正常に作動 (1分以内)	確認事項			結果	備考																																																																																										
				野外放射線 モニタ盤	警報																																																																																													
					線量率高 野外(高レンジ) 放射線高	共通盤			表示 点灯	警報 吹鳴																																																																																								
モニタリングポスト (MP-5)	1.00×10 <sup>3</sup>	8.00×10 <sup>2</sup> <80%>	有・無	線量率高 野外(高レンジ) 放射線高	野外(高レンジ) 放射線高	有・無	有・無	有・無	良	無なら良																																																																																								
		1.20×10 <sup>3</sup> <120%>	有・無	線量率高 野外(高レンジ) 放射線高	野外(高レンジ) 放射線高	有・無	有・無	有・無	有・無	良	有なら良																																																																																							
	1.00×10 <sup>4</sup>	8.00×10 <sup>3</sup> <80%>	有・無	線量率高 野外(高レンジ) 放射線高	野外(高レンジ) 放射線高	有・無	有・無	有・無	有・無	良	無なら良																																																																																							
		1.20×10 <sup>4</sup> <120%>	有・無	線量率高 野外(高レンジ) 放射線高	野外(高レンジ) 放射線高	有・無	有・無	有・無	有・無	良	有なら良																																																																																							

原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領に係る検査項目比較表

(A) 原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領の記録様式

記録確認検査記録

検査年月日 2023年 9月 8日  
 検査担当職員  
 検査担当職員  
 検査立会者

1. モニタリングポスト MP-1

モニタ名称	検出器	照射等による 数値 (nGy/h)	記録計指示値 (nGy/h)	許容範囲 (nGy/h)	結果	備考
モニタリングポスト (MP-1)	NaI (N=4)	3.00×10 <sup>1</sup>	3.0×10 <sup>1</sup>	1.8×10 <sup>1</sup> ~5.2×10 <sup>1</sup>	良	
		3.00×10 <sup>2</sup>	3.0×10 <sup>2</sup>	1.8×10 <sup>2</sup> ~5.2×10 <sup>2</sup>		
		3.00×10 <sup>3</sup>	3.0×10 <sup>3</sup>	1.8×10 <sup>3</sup> ~5.2×10 <sup>3</sup>		
		3.00×10 <sup>4</sup>	3.0×10 <sup>4</sup>	1.8×10 <sup>4</sup> ~5.2×10 <sup>4</sup>		
	IC (N=7)	3.00×10 <sup>1</sup>	3.0×10 <sup>1</sup>	1.2×10 <sup>1</sup> ~7.8×10 <sup>1</sup>	良	
		3.00×10 <sup>2</sup>	3.0×10 <sup>2</sup>	1.2×10 <sup>2</sup> ~7.8×10 <sup>2</sup>		
		3.00×10 <sup>3</sup>	3.0×10 <sup>3</sup>	1.2×10 <sup>3</sup> ~7.8×10 <sup>3</sup>		
		3.00×10 <sup>4</sup>	3.0×10 <sup>4</sup>	1.2×10 <sup>4</sup> ~7.8×10 <sup>4</sup>		
		3.00×10 <sup>5</sup>	3.0×10 <sup>5</sup>	1.2×10 <sup>5</sup> ~7.8×10 <sup>5</sup>		
		3.00×10 <sup>6</sup>	3.0×10 <sup>6</sup>	1.2×10 <sup>6</sup> ~7.8×10 <sup>6</sup>		
		3.00×10 <sup>7</sup>	3.0×10 <sup>7</sup>	1.2×10 <sup>7</sup> ~7.8×10 <sup>7</sup>		

NaI: NaI (TI) シンチレーション IC: 電離箱  
 検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと (良・否)

(B) 島根原子力発電所 使用前事業者検査成績書の抜粋

データ採取等の記録 (記録計指示値対応検査)

検査年月日 2023年 9月 8日  
 検査受検担当者

1. モニタリングポスト MP-1  
 (1) 低レンジモニタ (N=4)

工学値 (nGy/h)	模擬信号による標準入力 模擬入力 (s <sup>-1</sup> )		デジタル線量値 (nGy/h)	記録計指示値 (nGy/h)	許容範囲 (nGy/h)	結果	備考
	工学値	模擬入力					
3.0×10 <sup>1</sup>	3.00E+00	6.44E+00	3.00 × 10 <sup>1</sup>	3.0 × 10 <sup>1</sup>	1.8 × 10 <sup>1</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>1</sup>	✓	
3.0×10 <sup>2</sup>	3.00E+01	6.44E+01	3.00 × 10 <sup>2</sup>	3.0 × 10 <sup>2</sup>	1.8 × 10 <sup>2</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>2</sup>	✓	
3.0×10 <sup>3</sup>	3.00E+02	6.44E+02	3.00 × 10 <sup>3</sup>	3.0 × 10 <sup>3</sup>	1.8 × 10 <sup>3</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>3</sup>	✓	
3.0×10 <sup>4</sup>	3.00E+03	6.44E+03	3.00 × 10 <sup>4</sup>	3.0 × 10 <sup>4</sup>	1.8 × 10 <sup>4</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>4</sup>	✓	

(2) 高レンジモニタ (N=7)

工学値 (nGy/h)	模擬信号による標準入力 模擬入力 (s <sup>-1</sup> )		デジタル線量値 (nGy/h)	指示線量率 (記録計指示) (nGy/h)	許容範囲 (nGy/h)	結果	備考
	工学値	模擬入力					
3.0×10 <sup>1</sup>	3.00E-01	3.00E+00	3.00 × 10 <sup>1</sup>	3.0 × 10 <sup>1</sup>	1.2 × 10 <sup>1</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>1</sup>	✓	
3.0×10 <sup>2</sup>	3.00E+00	3.00E+01	3.00 × 10 <sup>2</sup>	3.0 × 10 <sup>2</sup>	1.2 × 10 <sup>2</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>2</sup>	✓	
3.0×10 <sup>3</sup>	3.00E+01	3.00E+02	3.00 × 10 <sup>3</sup>	3.0 × 10 <sup>3</sup>	1.2 × 10 <sup>3</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>3</sup>	✓	
3.0×10 <sup>4</sup>	3.00E+02	3.00E+03	3.00 × 10 <sup>4</sup>	3.0 × 10 <sup>4</sup>	1.2 × 10 <sup>4</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>4</sup>	✓	
3.0×10 <sup>5</sup>	3.00E+03	3.00E+04	3.00 × 10 <sup>5</sup>	3.0 × 10 <sup>5</sup>	1.2 × 10 <sup>5</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>5</sup>	✓	
3.0×10 <sup>6</sup>	3.00E+04	3.00E+05	3.00 × 10 <sup>6</sup>	3.0 × 10 <sup>6</sup>	1.2 × 10 <sup>6</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>6</sup>	✓	
3.0×10 <sup>7</sup>	3.00E+05	3.00E+06	3.00 × 10 <sup>7</sup>	3.0 × 10 <sup>7</sup>	1.2 × 10 <sup>7</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>7</sup>	✓	

成績書(頁)

判定基準の比較

A (原災法検査)  
 記録された数値が照射等による数値  
 に対し以下を満たすこと。  
 イ. アナログ式対数計  
 ±0.06Nデカード以内であること。  
 B (使用前事業者検査)  
 記録計に記録された指示値が許容範囲  
 内(±0.06Nデカード以内)  
 であること。  
 >使用前事業者検査に適合すること  
 により、原災法検査における許容  
 範囲内であることが確認可能である。

原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領に係る検査項目比較表

(A) 原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領の記録様式

記録確認検査記録

検査年月日 2023年 9月 7日  
 検査担当職員  
 検査担当職員  
 検査立会者

2. モニタリングポスト MP-3

モニタ名称	検出器	照射等による 数値 (nGy/h)	記録計指示値 (nGy/h)	許容範囲 (nGy/h)	結果	備考
モニタリングポスト (MP-3)	NaI (N=4)	3.00×10 <sup>1</sup>	3.0×10 <sup>1</sup>	1.8×10 <sup>1</sup> ~5.2×10 <sup>1</sup>	良	
		3.00×10 <sup>2</sup>	3.0×10 <sup>2</sup>	1.8×10 <sup>2</sup> ~5.2×10 <sup>2</sup>		
		3.00×10 <sup>3</sup>	3.0×10 <sup>3</sup>	1.8×10 <sup>3</sup> ~5.2×10 <sup>3</sup>		
		3.00×10 <sup>4</sup>	3.0×10 <sup>4</sup>	1.8×10 <sup>4</sup> ~5.2×10 <sup>4</sup>		
	IC (N=7)	3.00×10 <sup>1</sup>	3.0×10 <sup>1</sup>	1.2×10 <sup>1</sup> ~7.8×10 <sup>1</sup>	良	
		3.00×10 <sup>2</sup>	3.0×10 <sup>2</sup>	1.2×10 <sup>2</sup> ~7.8×10 <sup>2</sup>		
		3.00×10 <sup>3</sup>	3.0×10 <sup>3</sup>	1.2×10 <sup>3</sup> ~7.8×10 <sup>3</sup>		
		3.00×10 <sup>4</sup>	3.0×10 <sup>4</sup>	1.2×10 <sup>4</sup> ~7.8×10 <sup>4</sup>		
		3.00×10 <sup>5</sup>	3.0×10 <sup>5</sup>	1.2×10 <sup>5</sup> ~7.8×10 <sup>5</sup>		
		3.00×10 <sup>6</sup>	3.0×10 <sup>6</sup>	1.2×10 <sup>6</sup> ~7.8×10 <sup>6</sup>		
		3.00×10 <sup>7</sup>	3.0×10 <sup>7</sup>	1.2×10 <sup>7</sup> ~7.8×10 <sup>7</sup>		

NaI: NaI (TI) シンチレーション IC: 電離箱  
 検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと (良・否)

(B) 島根原子力発電所 使用前事業者検査成績書の抜粋

データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)

検査年月日 2023年 9月 7日  
 検査受検担当者

2. モニタリングポスト MP-3  
 (1) 低レンジモニタ (N=4)

模擬信号による標準入力		デジタル線量値 (nGy/h)	記録計指示値 (nGy/h)	許容範囲 (nGy/h)	結果	備考
工学値 (nGy/h)	模擬入力 (s <sup>-1</sup> )					
3.0×10 <sup>1</sup>	6.44E+00	3.00 × 10 <sup>1</sup>	3.0 × 10 <sup>1</sup>	1.8 × 10 <sup>1</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>1</sup>	✓	
3.0×10 <sup>2</sup>	6.44E+01	3.00 × 10 <sup>2</sup>	3.0 × 10 <sup>2</sup>	1.8 × 10 <sup>2</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>2</sup>	✓	
3.0×10 <sup>3</sup>	6.44E+02	3.00 × 10 <sup>3</sup>	3.0 × 10 <sup>3</sup>	1.8 × 10 <sup>3</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>3</sup>	✓	
3.0×10 <sup>4</sup>	6.44E+03	3.00 × 10 <sup>4</sup>	3.0 × 10 <sup>4</sup>	1.8 × 10 <sup>4</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>4</sup>	✓	

(2) 高レンジモニタ (N=7)

模擬信号による標準入力		デジタル線量値 (nGy/h)	指示線量率 (記録計指示) (nGy/h)	許容範囲 (nGy/h)	結果	備考
工学値 (nGy/h)	模擬入力 (s <sup>-1</sup> )					
3.0×10 <sup>1</sup>	3.00E-01	3.00 × 10 <sup>1</sup>	3.0 × 10 <sup>1</sup>	1.2 × 10 <sup>1</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>1</sup>	✓	
3.0×10 <sup>2</sup>	3.00E+00	3.00 × 10 <sup>2</sup>	3.0 × 10 <sup>2</sup>	1.2 × 10 <sup>2</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>2</sup>	✓	
3.0×10 <sup>3</sup>	3.00E+01	3.00 × 10 <sup>3</sup>	3.0 × 10 <sup>3</sup>	1.2 × 10 <sup>3</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>3</sup>	✓	
3.0×10 <sup>4</sup>	3.00E+02	3.00 × 10 <sup>4</sup>	3.0 × 10 <sup>4</sup>	1.2 × 10 <sup>4</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>4</sup>	✓	
3.0×10 <sup>5</sup>	3.00E+03	3.00 × 10 <sup>5</sup>	3.0 × 10 <sup>5</sup>	1.2 × 10 <sup>5</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>5</sup>	✓	
3.0×10 <sup>6</sup>	3.00E+04	3.00 × 10 <sup>6</sup>	3.0 × 10 <sup>6</sup>	1.2 × 10 <sup>6</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>6</sup>	✓	
3.0×10 <sup>7</sup>	3.00E+05	3.00 × 10 <sup>7</sup>	3.0 × 10 <sup>7</sup>	1.2 × 10 <sup>7</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>7</sup>	✓	

成績書(頁)

判定基準の比較

A (原災法検査)  
 記録された数値が照射等による数値  
 に対し以下を満たすこと。  
 イ. アナログ式対数計  
 ±0.06Nデカード以内であること。  
 B (使用前事業者検査)  
 記録計に記録された指示値が許容範囲  
 内(±0.06Nデカード以内)  
 であること。  
 >使用前事業者検査に適合すること  
 により、原災法検査における許容  
 範囲内であることが確認可能である。



原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領に係る検査項目比較表

(A) 原子力災害対策特別措置法に基づく放射線測定設備の検査実施要領の記録様式

記録確認検査記録

検査年月日 2023年 9月11日  
 検査担当職員  
 検査担当職員  
 検査立会者

3. モニタリングポスト MP-5

モニタ名称	検出器	照射等による 数値 (nGy/h)	記録計指示値 (nGy/h)	許容範囲 (nGy/h)	結果	備考
モニタリングポスト (MP-5)	NaI (N=4)	3.00×10 <sup>1</sup>	3.0×10 <sup>1</sup>	1.8×10 <sup>1</sup> ~5.2×10 <sup>1</sup>	良	
		3.00×10 <sup>2</sup>	3.0×10 <sup>2</sup>	1.8×10 <sup>2</sup> ~5.2×10 <sup>2</sup>		
		3.00×10 <sup>3</sup>	3.0×10 <sup>3</sup>	1.8×10 <sup>3</sup> ~5.2×10 <sup>3</sup>		
		3.00×10 <sup>4</sup>	3.0×10 <sup>4</sup>	1.8×10 <sup>4</sup> ~5.2×10 <sup>4</sup>		
	IC (N=7)	3.00×10 <sup>1</sup>	3.0×10 <sup>1</sup>	1.2×10 <sup>1</sup> ~7.8×10 <sup>1</sup>	良	
		3.00×10 <sup>2</sup>	3.0×10 <sup>2</sup>	1.2×10 <sup>2</sup> ~7.8×10 <sup>2</sup>		
		3.00×10 <sup>3</sup>	3.0×10 <sup>3</sup>	1.2×10 <sup>3</sup> ~7.8×10 <sup>3</sup>		
		3.00×10 <sup>4</sup>	3.0×10 <sup>4</sup>	1.2×10 <sup>4</sup> ~7.8×10 <sup>4</sup>		
		3.00×10 <sup>5</sup>	3.0×10 <sup>5</sup>	1.2×10 <sup>5</sup> ~7.8×10 <sup>5</sup>		
		3.00×10 <sup>6</sup>	3.0×10 <sup>6</sup>	1.2×10 <sup>6</sup> ~7.8×10 <sup>6</sup>		
		3.00×10 <sup>7</sup>	3.0×10 <sup>7</sup>	1.2×10 <sup>7</sup> ~7.8×10 <sup>7</sup>		

NaI: NaI (TI) シンチレーション IC: 電離箱  
 検査対象設備の外観及び据付の状態が検査結果に影響を及ぼす可能性がないこと (良・否)

(B) 島根原子力発電所 使用前事業者検査成績書の抜粋

データ採取等の記録 (記録計指示対応検査)

検査年月日 2023年 9月11日  
 検査受検担当者

3. モニタリングポスト MP-5  
 (1) 低レンジモニタ (N=4)

模擬信号による標準入力		デジタル線量値 (nGy/h)	記録計指示値 (nGy/h)	許容範囲 (nGy/h)	結果	備考
工学値 (nGy/h)	模擬入力 (s <sup>-1</sup> )					
3.0×10 <sup>1</sup>	6.44E+00	3.00 × 10 <sup>1</sup>	3.0 × 10 <sup>1</sup>	1.8 × 10 <sup>1</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>1</sup>	✓	
3.0×10 <sup>2</sup>	6.44E+01	3.00 × 10 <sup>2</sup>	3.0 × 10 <sup>2</sup>	1.8 × 10 <sup>2</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>2</sup>	✓	
3.0×10 <sup>3</sup>	6.44E+02	3.00 × 10 <sup>3</sup>	3.0 × 10 <sup>3</sup>	1.8 × 10 <sup>3</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>3</sup>	✓	
3.0×10 <sup>4</sup>	6.44E+03	3.00 × 10 <sup>4</sup>	3.0 × 10 <sup>4</sup>	1.8 × 10 <sup>4</sup> ~ 5.2 × 10 <sup>4</sup>	✓	

(2) 高レンジモニタ (N=7)

模擬信号による標準入力		デジタル線量値 (nGy/h)	指示線量率 (記録計指示) (nGy/h)	許容範囲 (nGy/h)	結果	備考
工学値 (nGy/h)	模擬入力 (s <sup>-1</sup> )					
3.0×10 <sup>1</sup>	3.00E-01	3.00 × 10 <sup>1</sup>	3.0 × 10 <sup>1</sup>	1.2 × 10 <sup>1</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>1</sup>	✓	
3.0×10 <sup>2</sup>	3.00E+00	3.00 × 10 <sup>2</sup>	3.0 × 10 <sup>2</sup>	1.2 × 10 <sup>2</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>2</sup>	✓	
3.0×10 <sup>3</sup>	3.00E+01	3.00 × 10 <sup>3</sup>	3.0 × 10 <sup>3</sup>	1.2 × 10 <sup>3</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>3</sup>	✓	
3.0×10 <sup>4</sup>	3.00E+02	3.00 × 10 <sup>4</sup>	3.0 × 10 <sup>4</sup>	1.2 × 10 <sup>4</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>4</sup>	✓	
3.0×10 <sup>5</sup>	3.00E+03	3.00 × 10 <sup>5</sup>	3.0 × 10 <sup>5</sup>	1.2 × 10 <sup>5</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>5</sup>	✓	
3.0×10 <sup>6</sup>	3.00E+04	3.00 × 10 <sup>6</sup>	3.0 × 10 <sup>6</sup>	1.2 × 10 <sup>6</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>6</sup>	✓	
3.0×10 <sup>7</sup>	3.00E+05	3.00 × 10 <sup>7</sup>	3.0 × 10 <sup>7</sup>	1.2 × 10 <sup>7</sup> ~ 7.8 × 10 <sup>7</sup>	✓	

成績書(頁)

判定基準の比較

A (原災法検査)  
 記録された数値が照射等による数値に対し以下を満たすこと。  
 イ. アナログ式対数計  
 ±0.06Nデカード以内であること。  
 B (使用前事業者検査)  
 記録計に記録された指示値が許容範囲内(±0.06Nデカード以内)であること。  
 >使用前事業者検査に適合することにより、原災法検査における許容範囲内であることが確認可能である。